

思い描いてみよう自分たちの未来を

みはら

お仕事ハンドブック2023

Mihara Company Handbook

思い描いてみよう自分たちの未来を

みはら

お仕事ハンドブック2023

Mihara Company Handbook

【発行】

Jデスクみはら

(三原市、三原商工会議所、三原臨空商工会、三原公共職業安定所)

【制作】

株式会社ザメディアジョン

【問い合わせ先】

Jデスクみはら事務局 三原市経済部商工振興課

〒723-8601

広島県三原市港町3-5-1 商工振興課(本庁舎3階)

TEL0848-67-6013

本書の記事・写真を無断で複写・複製・転載することを禁じます。
法律で定められた場合を除き、著作権の侵害となります。

2023年12月発行



CONTENTS

三原を支える会社と先輩

53 stories

- 02 三原市紹介 ずっと住んでいたい街 三原
- 04 地元・三原で働く先輩たちから後輩たちへのメッセージ
- 05 株式会社アコーディア・ゴルフ
- 06 株式会社アミックス
- 07 今治造船株式会社 広島工場
- 08 株式会社エスフーズ
- 09 株式会社MCAT
- 10 株式会社エムトレーディング
- 11 株式会社ガルバ興業 三原工場
- 12 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 広島工場
- 13 株式会社サラダクラブ 三原工場
- 14 サンキ・ウエルビー株式会社
- 15 社会福祉法人 三誓会
- 16 山陽建設株式会社
- 17 山陽ブロック工業株式会社 本郷工場
- 18 しまなみ信用金庫
- 19 ダイキョーニシカワ株式会社 大和工場
- 20 医療法人 大慈会 三原病院
- 21 社会福祉法人 泰清会 さんさんまりんこども園
- 22 タイム株式会社
- 23 高砂香料西日本工場株式会社
- 24 中国紙工業株式会社 三原工場
- 25 株式会社中立製作所 広島工場
- 26 都吹株式会社
- 27 テクノス三原株式会社
- 28 東伸船舶機械工業有限公司
- 29 東洋製罐株式会社 広島工場
- 30 株式会社徳寿 訪問看護ステーションAioi
- 31 株式会社中博建設



- 32 株式会社ニホンケミカル
- 33 日本シーレーク株式会社 東部支店
- 34 野村乳業株式会社 マイ・フローラ プラント
- 35 株式会社八天堂
- 36 特集 現役高校生が、三原の先輩社会人にインタビュー
株式会社八天堂×広島県立総合技術高等学校



- 38 Palet's
- 39 株式会社平田空調
- 40 広島ガス三原販売株式会社
- 41 社会福祉法人 風和会 にじいろドレミ園
- 42 福山工業株式会社
- 43 福山通運株式会社 三原支店
- 44 特集 現役高校生が、三原の先輩社会人にインタビュー
福山通運株式会社×広島県立三原東高等学校



- 46 藤井建設株式会社
- 47 BLUET Barber Shop
- 48 株式会社古川製作所
- 49 株式会社フルミヤ電業
- 50 株式会社前田組 三原営業所
- 51 株式会社道の駅みはら
- 52 三菱重工株式会社 エンジニアリングセグメント
- 53 三菱重工機械システム株式会社 印刷紙工機械事業本部(三原事業所)
- 54 特集 現役高校生が、三原の先輩社会人にインタビュー
三菱重工機械システム株式会社×広島県立三原東高等学校



- 56 三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社
- 57 株式会社みどり商会
- 58 一般社団法人 三原薬剤師会(三原薬剤師会センター薬局)
- 59 株式会社やまみ
- 60 株式会社ユーアンドミー
- 61 株式会社よがんす白竜
- 62 社会医療法人 里仁会 興生総合病院
- 63 株式会社レニアス



- 64 特集 現役高校生が、三原の先輩社会人にインタビュー
社会医療法人 里仁会 興生総合病院×広島県立三原高等学校



ずっと住んでいたい街 三原

中国・四国地方のほぼ中心に位置する三原市。
瀬戸内海と里山の自然に恵まれながら、
充実した都市機能も備えているのが特徴です。
交通面では、市内に広島空港、新幹線駅、高速道路、
三原港があり、東京、大阪へ片道2時間以内でアクセスできます。
おだやかな自然のなかで便利な都市生活が叶います。

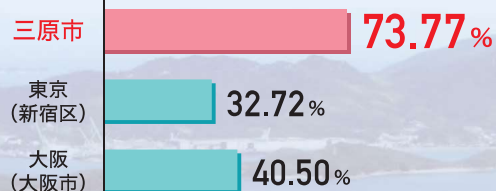
暮らし

通勤時間



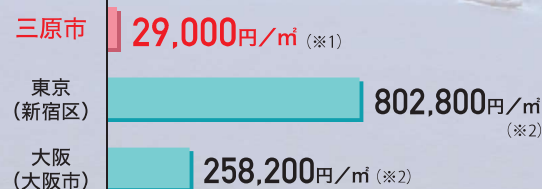
総務省統計局「平成30年住宅・土地統計調査」

持ち家比率



総務省統計局「平成30年住宅・土地統計調査」

土地平均価格(住宅地)

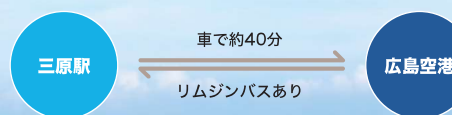


(※1) 令和5年広島県地価調査 (※2) 令和5年都道府県地価調査

交通



広島空港までのアクセス



陸路でのアクセス

瀬戸内しまなみ海道や中国やまなみ街道へのアクセスが良く、
中国・四国地方の大半が3時間圏域

高速道路



新幹線



空路でのアクセス



※数字は三原からの所要時間の目安です

地元・三原で働く先輩たちから 後輩たちへのメッセージ

これから社会人になるまでの数年間。
それは、未来の可能性を広げていくための時間。

それぞれの思い描く未来が
笑顔であふれたものになるように。

地元・三原で働く先輩たちから
後輩たちへのメッセージ。



皆さまのお声をお聞かせください!!

保護者・
学校関係者の方



生徒・学生の方



アンケート回答用フォーム



01

サービス業（ゴルフ場経営）

株式会社アコーディア・ゴルフ
ACCORDIA GOLF



三原市大和町和木3262
☎0847-34-0111
🌐https://www.accordiagolf.com/

お客様と一番に接する フロント業務を通じ 心地よい時間を提供

もりすえ たかほろ
森末 貴治 (39歳)

2006年入社
尾道市立御調中学校・広島県立御調高等学校 出身

中学生の頃はサッカー部、高校生の頃はバレー部と、とにかく体を動かすことが大好き。大学ではゴルフ部に所属し、その延長線上で現在の職場に就職しました。フロント業務を担当し、お客様の受付や精算手続き、コース説明などをしています。時には雑談のついでに、目上のお客様から会社経営や人生経験についてお話を聞くことができ、自身の教訓として心に刻んできました。



た。仕事をする上では、笑顔を忘れず、お客様が気持ちよくプレーできるよう、わかりやすいご案内を心がけています。データ分析等の事務作業も手掛けているので、今後は経営にプラスになるような業務にも心を砕いていきたいです。



白竜湖カントリークラブも運営する会社 ゴルフが持つ魅力や楽しさを全国に発信

国内最大級のゴルフ場運営会社で、三原では「白竜湖カントリークラブ」を運営。ゴルフというスポーツの魅力や楽しさを発信し、「お客様の笑顔」「従業員の笑顔」「社会の笑顔」を創造する。自然とのふれあいや人のつながりなど、老若男女楽しめるゴルフの環境づくりとサービスを提供。予約サイトでは全国のゴルフ場から最適なプランを検索できる。

休日の過ごし方

やっぱりゴルフ! 子どもたちと過ごす日も

仲間と休みが合う日はゴルフのプレーに向かいます。白竜湖カントリークラブの良さは、かつて男子プロがトーナメントを行っていたくらい広い敷地でコース多彩なところ。空港が近いので県外の人にも訪れやすいです。それ以外の日は、6歳、4歳、2歳の子どもたちと一緒に遊んでいます。





悩み、迷ったからこそ 出会うことができた 適職と思える仕事

ひらなか たいりく
平中 大陸 (27歳)

2022年入社

尾道市立浦崎中学校・学校法人尾道学園 尾道高等学校 出身

現在の仕事に就く以前、2つの職場を経験しました。どちらも人とのコミュニケーションが必須で、学ぶべきところが多かったものの、人と話すのが苦手な自分にも気付きました。現在担当しているのは金型部品の加工。仕上げを担当しているので、0.01mmの世界で間違いのない測定に気を配っています。また、いかに効率よく仕事を行うかも重要で、機械が動いている間



に工具を準備するなど、段取りを考えて進行がスムーズにいくよう注意しています。目の前の作業に向き合う今の仕事は、自分にすごく合っていると感じています。学生の皆さんには、今から将来を見据えてアクションを起こしてほしいです。

国内で唯一の大型サイズを扱うのが強み ダイカスト母型おもがた加工のスペシャリスト

自動車部品をはじめとし、一般機械、電気・電子機器、建築金物、日用品などに用いられるダイカスト金型の母型おもがたの製造を行う。特に国内で唯一の専業として、大型サイズを取り扱うことを強みとする。再生や補修サービスも請け負うため、一貫したワンストップサービスが可能。「真面目なもののづくり」を合言葉に努力を重ね、東北から九州まで多くの顧客を持つ。

休日の過ごし方

畑仕事など夫婦で田舎暮らしをエンジョイ

都会育ちの妻は田舎に憧れがあったようで、野菜を作ったり、ヤギを飼って世話をしたりと、夫婦で里山暮らしを満喫しています。今後は家のリフォームにもチャレンジする予定。気になる箇所をDIYで好みの仕様にチェンジしたり、冬に向けて薪ストーブを造ってみようと考えています。



コミュニケーションを 大切にしなから 巨大な船の建造に挑む

すなだ たかあき
砂田 隆朗 (29歳)

2016年入社

三原市立幸崎中学校・広島県立三原高等学校 出身

幼い頃から車が好きで、レースゲームで遊んだり、テレビでレース番組を見て楽しんでいました。広島工業大学で機械システムについて学んだ後、大きな規模のモノづくりができることに魅力を感じて今治造船へ。中学・高校の頃に夢見た車とは違いますが、乗り物に関わる仕事に就くことができました。船装チームに所属し、現在は船の中のパイプを作っています。多くの人と協力



しながら仕事を進めるため、自分の考えが相手に伝わるよう、しっかりとコミュニケーションを取ることが大切。より良い製作方法に改善できた時はやりがいを感じます。基礎知識をもっと増やし、周りから頼られる人材になるのが目標です。

人々の暮らしや経済を支える 多種多様な新造船を建造!

瀬戸内海沿岸にグループ10工場を有し、年間70隻以上の船を世界の海に送り出す、新造船建造量日本一の会社。造った船は世界中でたくさんのものを運び、人々の暮らしや経済を支えている。商船であれば、どのような船でも、さまざまな大きさで造ることができるため、顧客のニーズにあった船をタイムリーに供給する。社員は多くの種類の船の建造に携わることができる。

休日の過ごし方

ツーリング、キャンプなどアウトドアを満喫

趣味は、バイクや車でのツーリング。三原から竹原方面に向かって海沿いを走ると、景色が良く、開放感たっぷりで気持ちがいいです。キャンプと釣りも好きで、大学時代の友人や会社の仲間と、山や海に出かけて自然を満喫。土・日曜が休みなので、趣味の時間をたっぷりとれるのも会社の魅力です。





関わる全ての人を 笑顔にするのが夢 店長として成長中！

ひらもと まつや
平本 哲也 (29歳)

2021年入社
三原市立幸崎中学校・広島県立忠海高等学校 出身



すること。日々研さんを積み、頭をフル回転して頑張りたいです。中学・高校の頃は、大人になった姿が想像できず、夢もありませんでした。その分いろんなことにチャレンジできました。皆さんも自分の限界を決めないで、可能性を広げてみてください。

笑顔と元気で老若男女に感動をお届け 自分らしく働ける制度や手当も充実

食を通じて地域を笑顔にしたいとの思いで「丸源ラーメン 三原店」「丸源ラーメン 東広島西条店」「焼肉きんぐ 三原店」を運営。とびっきりの笑顔と元気で、おいしさと感動を提供する。働き方選択制度でライフスタイルに合わせた働き方ができ、明確な昇給制度、資格・記録更新手当など多岐にわたる手当制度で、頑張りを評価。自分らしく働きながら成長できるのも魅力。



自分の会社の 好きなところ

年齢や社歴に関係なく、何でも言い合える！

人間関係がとても良い会社です。上司や後輩、アルバイトスタッフを含め、仲が良く、何でも言い合える関係です。自分では気付かなかった視点の意見を後輩やアルバイトスタッフから聞き、気付かせてもらうことも。上司に対しても自分の思いや意見を伝えやすい雰囲気、個々を尊重してくれていると実感しています。



人生を悔いなく生きる 交通事故で気付いた 自分の歩みたい道

さとう まつや
佐藤 哲哉 (27歳)

2021年入社
竹原市立竹原中学校・国立広島商船高等専門学校 出身



20歳の頃に経験した交通事故がきっかけで、「自分の人生を悔いなく生きよう」と強く思うようになりました。高専で学んだ情報通信の知識を生かしたいと考え、ネットワークエンジニアとして就職。通信網整備やプロバイダーサービスの提供に携わり、通信障害が起きたなどのトラブルを解決するのが主な業務です。日々進化する通信技術の世界は勉強が不可欠ですが、以



前に解決した方法を次にうまく生かせると成長を感じられます。学生の皆さんも悩んだり困難にぶつかるとはありますが、そんな時は休息時間を設けて一度リセットするのがおすすめです。一度きりの人生を大事に過ごしましょう。

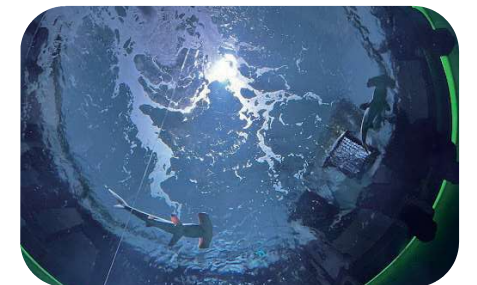
テレビ、インターネットサービスで地域貢献 働きやすい環境にも力を入れる若手活躍企業

創立40周年の節目に三原テレビ放送株式会社から社名を変更。三原市、世羅町でテレビやインターネット、自社制作の番組配信サービスを行う。三原市のPR動画作成やこどもお仕事体験、三原駅前のデジタルサイネージ設置といった地域活性化事業も広く手掛ける。社員の半数以上は20～30代で若手が活躍できる環境。2020年に「働き方改革実践企業」に認定。

休日の過ごし方

いっぱい遊んで仕事のモチベーションアップ

事故後に仕事と同じくらい打ち込むようになったのが“遊び”。休みの日は釣りやキャンプ、ドライブ、バッティングセンターなど、とにかくアクティブに動いています。ひと通り遊んで汗をかいた後は銭湯やサウナを楽しむことも。ゆっくりしたい時は水族館で魚を見て癒やされています。





子を持つ親としても 食の安心と安全を 守っていきたい

かみだ ゆうへい
上田 悠平 (34歳)

2013年入社

広島大学附属三原中学校・広島県立三原東高等学校 出身



注意すべきことの指導も欠かせません。結婚し2児の父となった今、「本当に安全な食品を」という思いが一層強くなっています。夢に挑戦するのも、新たな場で目標を見つけるのも自分次第。目の前にある道を懸命に歩んでいきましょう。

食肉加工品の製造・販売を通じて社会貢献 サステナブルな取り組みや環境改善も

「食を通じて社会に貢献する」という理念のもと、1972年に創業。食肉の卸販売からスタートし、やわらか食肉やボイル済食肉加工品の製造・販売を行っている。近年では製造時に出る油脂や残渣をバイオ燃料に変えるといった廃棄物対策やフードロスにも注力。社内は年代に関係なく自身で考えたアイデアや改善策を提案できる環境で、風通しの良い社風が魅力。

休日の過ごし方

アウトドアで自然満喫! 家族の時間を大切に

休日は家族と過ごす時間を大切に。最近は府中や久井の方へ車を走らせ、キャンプを楽しんでいます。また、運動公園でスケボーの練習をすることも多いです。自然の中で子どもたちと一緒に汗を流すと心身共にリフレッシュできます。アウトドアスポットが多いのは三原の良さですね。



製造の一端を担う クレーンオペレーター 先輩の働く姿に憧れて

くまだ ももか
熊田 桃花 (20歳)

2022年入社

尾道市立高西中学校・広島県立尾道商業高等学校 出身



進学よりも就職という考えで商業高校に進学。高校生の頃は「尾商デパート」という行事で、企業さんから仕入れを行い販売するという取り組みにもチャレンジしてきた影響もあって、事務職や販売職に魅力を感じていたのですが、職場見学でガルバ興業を訪れた時、クレーンオペレーターという仕事を初めて知り、キビキビと働く先輩たちの姿に憧れを覚え、入社を志望しました。



未来の暮らしを支える溶融亜鉛めっき加工 若手が活躍の現場でやりがいと成長を実感

溶融亜鉛めっき加工と呼ばれる、鉄を錆から守る技術を提供。日本最大級の加工設備を有し「大型ショッピングモール、立体駐車場、橋、ガードレール、船舶、高層ビル」など暮らしに直結している物に多く使われている。社内は各セクションの所属長が33歳から37歳と若く、新卒社員へのサポートも万全。未来の暮らしを支える技術に携わりながら、やりがいと成長を実感できる。

休日の過ごし方

旅行やカフェ巡りが好き! SNSにもアップ

友達との旅行や、カフェ巡りを楽しんでいます。写真は山口の湯田温泉。スイーツがかわいくて、とても癒やされました。遊んだ時の様子をSNSにアップしたり、疲れている時は自宅でゆっくり過ごすことも。会社には年間カレンダーがあるため、1年を通して予定が立てやすいです。





野球で培われた積極性 高い意識と責任感で 自ら進んで行動を！

ひろふじ しょう ま
広藤 翔馬 (20歳)

2021年入社

三原市立本郷中学校・広島県立総合技術高等学校 出身



いことが大事。どのような進捗状況か、チームで共有するのも大切にしています。今後は機械トラブルも解決できるような、知識・技術を有した社員になるのが目標。お客様を笑顔にできる、安心安全でおいしい製品を作り続けていきます！

最新技術を導入した広島工場 持続可能な社会の実現にも注力

全世界225社以上の「コカ・コーラボトラー」において、アジア最大級の売上高と有数の規模を誇るコカ・コーラ ボトラーズジャパン。広島工場は製造ラインの自動化と最新のIoT技術導入で生産や工程管理の効率化を図り、働きやすさにも定評がある。また「すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造する」というミッションのもと、持続可能な事業と社会を実現する取り組みにも注力する。



自分の会社の 好きどころ

多様な世代とのコミュニケーションで成長

話しやすい先輩社員が多く、楽しく仕事ができる環境です。わからないことを教えてくださったり、いつもサポートいただいています。さまざまな年代の社員が勤務しているため、仕事を通じてコミュニケーションスキルがアップしました。作業現場が衛生的で、残業が少ないところも自慢です。



安全でおいしい サラダを食卓へ 笑顔と幸せもお届け

にし ま り の ん
手島 李音 (21歳)

2021年入社

竹原市立竹原中学校・広島県立竹原高等学校 出身



学生時代、進路についてあまり真剣に考えておらず、先生の勧めで「サラダクラブ 三原工場」の職場見学へ。会社の人たちがとてもフレンドリーに案内してくれたことが「この会社に入りたい」という思いに繋がりました。1日7～8万個のパッケージサラダを作るため、仕事は体力勝負な一面も。衛生環境や個数確認に気を配りながら、充てん作業を行っています。夢は変わら



ず、昔も今も「たくさんの人を笑顔にして喜んでもらうこと」。直接的に誰かを幸せにしているわけではないけれど、ヘルシーでおいしいパッケージサラダを消費者の皆さんに届けることで、間接的にその夢が叶っていると感じています。

キューピーグループのパッケージサラダ製造工場 野菜の未利用部位を堆肥化しSDGsにも寄与

「もっと安心を」「もっと便利を」「もっと彩りを」「もっとエコを」の4つの“もっと”をお届け。産地や製法にこだわった、安心でおいしいパッケージサラダを製造する。サステナブルな活動にも力を入れ、工場で排出される野菜の生ごみを堆肥化。さらにこれらの良質な堆肥を近隣生産者に使用してもらい、CO₂削減や野菜の育成に貢献し好循環を生んでいる。

自分の会社の 好きどころ

プライベートでも遊びに行くほど仲良し！

職場の人たちは、皆本当に優しく話しやすいです。そのため職場の雰囲気も明るくて、休日は予定を合わせてあちこち一緒に遊びに行くほど。私はコロナ禍での入社だったので、懇親会や食事会といった行事が中止されていましたが、今後は復活するそうなので今からすごく楽しみです！



利用者さんの喜ぶ姿が
仕事を頑張る活力！
介護士として奮闘中すけぞめ ひとみ
助寶 瞳 (21歳)

2022年入社

東広島市立安芸津中学校・広島県立竹原高等学校 出身



分の好き・得意を生かした行事やレクリエーションも企画。利用者さんが喜んでくれる姿を見ると、明日も頑張ろうという気持ちになります。今後は資格を取ってスキルアップし、ここが地域に愛される拠点となるように繋がりを作っていきたいです。

「介護」から「快護」へ
一人ひとりに合わせてサポート

医薬品の卸売を中心に、医療と健康に関わる事業を展開するスズケンのグループ会社。居宅介護支援、通所介護、サービス付き高齢者向け住宅など、多彩な介護サービスを提供する。専門的な視点で、様々な角度から利用者を理解し、一人ひとりに合わせたサポート計画を構成。チームで寄り添い続ける「笑顔の快護」を目指す。利用者が楽しめる行事やレクリエーションも充実。



休日の過ごし方

友人とお出掛け！自然の景色に癒やされる

友人とお出掛けや買い物、宅飲みなどをしてリフレッシュしています。花が好きなので、春にはチューリップを見に「世羅高原農場」へ行き、一面に咲き誇る色とりどりの花に癒やされました。三原でお気に入りの場所は、「道の駅みはら神明の里」。高台から眺める瀬戸内海の景色がとてもきれいです。

誰一人取り残さない
保育を目指し奮闘中
子どもの成長に感動ほそや ゆう
細谷 優 (24歳)

2022年入社

三原市立第五中学校・学校法人山中学園 如水館高等学校 出身

昔から、おじいちゃんおばあちゃんや小さな子を支える仕事をしたと考えてきました。念願叶い、保育教諭として社会人デビュー。実習時に学んだ「一人になる子をつくらない」という指針を大切に、皆とまんべんなく関われる保育を心がけています。初めて0歳児クラスを受け持った時は、日々できることが増えていく乳児の姿に感動。保護者の皆様と一緒に成長を喜び合えること



が、何よりのやりがいです。保育に悩んだ時は、経験豊富な先輩方に相談して一人で抱え込まないようにしたり、大好きなアニメキャラクターの「無理しないで、自分の力でやっつけよう」という言葉を思い出して頑張っています。

母子生活支援や保育・教育、高齢者介護
社会的ニーズの高い分野を総合的にカバー

「利用者への誓い、地域への誓い、職員への誓い」の3つの誓いが法人名の由来。母子生活支援施設「サン・ロータス皆実」、幼保連携型認定こども園「認定あやめが丘こども園」、小規模保育園「なかよし保育園」、認知症対応型共同生活介護「西町グループホーム」「あやめが丘グループホーム」などを運営し、利用者・地域・職員が共生できる社会を目指す。

休日の過ごし方

友達と旅行へ、旅先での思い出の一枚が宝物

友達と旅行へ出かけ旅先で写真を撮っています。お気に入りの一枚は、メルヘンな世界観が素敵なお豆島オリブ園で撮影したもの。思い出の詰まった写真が、日々に元気をくれます。ほかには、所属しているダンスチームで練習に励んだり、大好きなシルバニアファミリーで楽しんでいます。





作業の積み重ねで 完成する建物に感動 行動に自信と責任を

たの ころ
宅野 想 (26歳)

2021年入社

深谷市立幡羅中学校・学校法人智香寺学園 正智深谷高等学校 出身

中学生の頃の夢は漫画家。創作に没頭するうち、ものづくりへの興味が育っていきました。大きな建造物や橋梁を見るのが好きで、大学受験時には建築の分野を志望。大学では建築全般についてや、次世代の新素材技術など幅広く学びました。入社後から現場を管理する所長の補助を務めてきましたが、3年目に入り、いよいよ現場を1人で任せられるように。図面の確認や工事



の流れの把握など、自分で考えて判断しなければならないことがたくさんありますが、近隣住民の方にかけていただく「ありがとう」の言葉や、建物完成時の感動を励みに、自身の発言と行動に自信と責任を持ち、施工管理の道をしっかり歩んでいきたいです。

県東部トップクラスの総合建設会社 新社屋が完成、社員に寄り添う福利厚生も

「仕事はやがて原風景に」をスローガンに、土木工事、建築工事、住宅工事など多彩なフィールドで活躍し大きく発展。広島県東部にありながら、広島市内の建設会社と同等の売上を誇り、土木・建築それぞれに強みを持つ。女性社員2名が育休から職場復帰するなど、子育てしながら働ける環境づくりを進めている。2023年に新社屋が完成し、同年5月移転・オープン。



休日の過ごし方

愛猫と戯れながら、自宅でしっかり休息

プライベートも大切にしたいので休日はゆっくり過ごすことが多いです。2匹の愛猫が何よりの癒やしで、一緒にゴロゴロしています。1つの現場が終わるとまとめて休めるため、関東にある実家へ帰省することも。仕事はハードですが、十分なやりがいを感じながらメリハリのある生活を送っています。



前職で得た資格を 生かして業務に邁進 多様な仲間とも協力

あわ ね こと
栗根 慎 (38歳)

2022年入社

尾道市立向島中学校・広島県立尾道工業高等学校 出身

工業高校の機械科で溶接や機械工作の勉強をしたこともあり、これまで町工場などで働いてきました。前職が夜勤のある職場だったため、規則正しい生活を送りたいと「山陽ブロック工業」へ転職。お陰で体調もすっかり良くなり、以前に取得したクレーン資格の技術を生かしながら、日々仕事に打ち込めています。弊社で働いていた友人に勧められた通り、会社はアットホー



ムで和気あいあいとした雰囲気。外国人の技能実習生も在籍しており、多様な仲間と共に業務に励んでいます。コンクリート製品の製造を手掛けていますが、造られた製品が町の生活環境を支えていると思うとやりがいを感じます。

各所との連携で安定した経営基盤を構築 コンクリート2次製品で暮らしを支える

河川製品や道路製品を中心としたコンクリート2次製品の製造販売、卸売を行う。特に河川・砂防等の河川製品は災害復旧工事に多く用いられるなど、人々の暮らしや環境に大きく貢献している。顧客のニーズに合わせたもののほか、近年では環境に配慮した製品も広く提案。グループ中核会社の「山陽建設」や同業他社と連携し、安定した経営基盤を築いている。

休日の過ごし方

地元の友達とゲームセンターで仲良くプレイ

地元である尾道のゲームセンターで休日を過ごすことが多く、そこで仲良くなった友人とプレイを楽しんでいます。週末休みがしっかりと確保できるので友人との約束がしやすく、メリハリのある生活が送れています。三原と尾道は移動距離も近いので、地元就職の良さを実感しています。





仕事で得た信頼関係は 自分の大切な財産。 感謝を忘れず日々まい進

まにし だい き
寺西 大樹 (31歳)

2014年入庫

三原市立宮浦中学校・広島県立三原東高等学校 出身



先輩の温かいフォローにより、成長することができました。やりがいを感じるのは、お客様から「相談して良かった」と感謝の言葉もらった時。仕事で得た信頼関係は、金融機関人として大切な財産です。感謝の気持ちを忘れず、業務に励んでいきます。

伝統を保ちながら時代をリード 地域に根差した金融機関

1944年創業。「地域の皆様とともに、地域社会の発展に貢献する」の理念のもと、広島県東部を中心に展開する地元金融機関。預金をはじめ、融資、保険などさまざまな金融商品を取り扱い、中小企業、個人事業主、個人それぞれのニーズに合った商品を提供。地域創生、豊かな街づくり、地球環境の保全をテーマにSDGsにも積極的に取り組む。



休日の過ごし方

子どもたちとアウトドア! 家族の笑顔が喜び

4歳の息子、2歳の娘と遊ぶのが休日の楽しみです。夏には福山のプールや府中の川に行ったり、自宅の庭でバーベキューをしたりしました。蹴られ・叩かれと手のかかることも多いですが(笑)、家族が笑顔で元気に居てくれることが1番の喜びです。当たり前のことに感謝して生活し、公私ともに充実させていきたいです。



クルマの部品を 完璧に作り上げる スキル習得を目指す!

やま だ きょうすけ
山田 京佑 (20歳)

2022年入社

三原市立第三中学校・広島県立総合技術高等学校 出身



環境設備科で学んだ知識や技術が生かせる仕事がしたいと「ダイキョーニシカワ」に就職。母校の校訓である「地域社会に貢献する」という思いもありました。就職先の選択肢が増やせるよう、学生時代に勉強を頑張ったことが今につながっていると感じています。会社では成形係として出来上がった製品を検査。最近では、光の反射などを使い小さな歪みを点検・矯正する作



クルマの軽量化に貢献する 自動車部品の総合プラスチックメーカー

自動車の内外装部品やパワートレイン部品を手掛ける総合プラスチックメーカー。自社で行う材料ブレンドや新製品開発、多彩な生産工法を持ち合わせるのが強み。多様な自動車部品をプラスチックに置き換えることで軽量化を実現、燃費向上を手助けして環境負荷低減に貢献する。ガソリン車、電気自動車双方に求められる技術で生活の利便性を向上させている。

休日の過ごし方

推しアーティストのライブでストレス発散

高校の頃の友人とドライブに出かけたり、好きなアーティストのライブに行って休日を満喫しています。ライブの開催地で観光や飲食店巡りをするのも楽しみのひとつ。会社では土日休みがしっかり確保されているので友人と予定を合わせやすく、オン・オフの切り替えがしっかりできています。





言葉や態度に気を付け 患者様ファーストで 力強いサポートを約束

細井 流佳（22歳）

2022年入職
三原市立第二中学校・広島県立三原東高等学校 出身



看護師を志すようになったのは、母親が入院した際、担当看護師さんに良くしていただいたことがきっかけです。家族の心配までしてくれる姿に感動し、自分も誰かを支えられる人間になろうと決意しました。当院は精神科専門なので、声かけや態度が患者様の精神状態に大きく影響します。そのため、優しい言葉遣いや清潔な身なりに気を付け、患者様最優先で動くよう心掛けて

います。悩みや不安を抱えていた患者様が安定し、社会復帰する姿を見られるのが何よりのやりがいです。今後は日本救急医学会ICLS（蘇生トレーニングコース）などの勉強にも力を入れ、急変時にも対応できるベテラン看護師を目指します。

地域に根差す精神疾患の拠点医療機関 切れ目のない体制で包括的に支援する

こころの健康を支える専門医療機関として、児童思春期から老年期の認知症まで幅広い年代の診療を行う。法人内には医療・福祉の関連施設があり、急性期の入院治療から退院後の生活まで切れ目なく支援する体制を整えている。長年にわたり培ってきた経験や知識に加え、最新の知見を用いながら地域関係者と連携を図り、患者に応じた包括的支援を提供する。



休日の過ごし方

顔なじみの居酒屋で楽しい時間を皆で共有

長く通っている居酒屋が居心地良くてお気に入り。友人とよく食事に行き、ほかの常連さんや初めて出会った人たちとワイワイ楽しんでいます。ハロウィンなど季節ごとのイベントもしているのですぐに仲良くなれ、にぎやかな時間を共有。しっかり遊んで仕事への活力を養っています。



子どもの笑顔で元気に 一人ひとりに寄り添う 保育を提供したい

湯村 詩織（24歳）

2022年入社
三原市立第三中学校・広島県立三原東高等学校 出身



親戚に小さい子がいて、一緒に遊んだりお世話をすることが好きでした。子どもと関わる仕事がしたいと思い保育の専門学校へ進学。実習では現在勤めているこども園や、複数の園で勉強を重ねました。一人ひとりに寄り添う保育を大切にしている「さんさんまりんこども園」に興味を持ち就職。今は担当クラスを持たず、ほかの先生のお手伝いをしながら、色々な年齢の子に接し



ています。その日行った活動を子どもたちが「楽しい」と言ってくれたり、抱っこをお願いされたりする時はとてもうれしいです。これからも先輩方から個々の発達に応じた保育を学び、子どもたちが安心して過ごせる場所をつくっていきたいです。

安心と心豊かな社会の実現に貢献する 子どもから高齢者までを支える公益法人

1998年に設立された公益法人で、高齢者福祉や認可こども園・保育園、児童発達支援、地域支援の分野で20を超える事業を展開。保育事業においては、質の高い保育や高齢者との世代間交流などが強み。「地域の人々の安心と心豊かな社会の実現に貢献する」という法人理念のもと、地域福祉の担い手としてSDGs（持続可能な開発目標）にも積極的に取り組む。

休日の過ごし方

カラオケで熱唱！ 流行りの歌を子どもと共有

歌をうたうのが好きで、友人とも一人でもカラオケに行き気分転換しています。よくうたうのはリズムカルなボカロ系。流行りの曲はこまめにチェックしていて、気づけばつい口ずさんでいる場合も。こども園で子どもたちと一緒に気に入りの曲をうたい、楽しい時間を共有することもあります。





興味の幅を広げて 自分の可能性を模索 新しいことに挑戦も！

わさもと だいすけ
脇本 大介 (27歳)

2021年入社

三原市立本郷中学校・広島県立総合技術高等学校 出身



やフォークリフト作業、3DCADでの図面製作をすることもあり、いろいろな業務をこなすことが自分の可能性を広げていると感じています。後輩の皆さんにも、自分がやってみたいと感じたことをぜひ積極的に行動に移してほしいです。

半導体分野や加速器分野を力強くサポート 高度な金属加工技術で暮らしを支える

FSW(摩擦攪拌接合)や超精密金属加工などさまざまな技術を有し、人々の暮らしを見えないところで支える。FSWという、特殊な工具を使って金属同士の接合部を摩擦熱で柔らかくして練り混ぜ一体化させる接合技術や、非鉄金属の高精度・高精密な加工を得意とする超精密金属加工は半導体関連分野で活用。さらに加速器分野の開発に関する特許を複数保有するのも強み。

休日の過ごし方

パソコンを使いゲームやイラスト制作に没頭

パソコン作業が得意で、今使っているパソコンは自分で部品を調べて組み立てたものです。休日はアプリなどを使いゲームやイラストの制作をしています。長期で休みが取得できた時は、ふらりと一人旅へ出掛けることも。各地で撮ったお気に入りの写真をPhotoshopで加工するのも楽しいです。



決められた手順で作る 数々のフレーバー 世に送り出す達成感

これやす いさみ
是安 勇実 (26歳)

2016年入社

三原市立第五中学校・広島県立総合技術高等学校 出身



高校の先輩から「若い人が多くて働きやすい会社だよ」と聞き入社。香料という生活に必要な不可欠ながら、他ではあまり聞かない分野に興味を持ちました。製造部の小物調合係として、食べ物や飲み物に含まれる香料を製造。1日60品目ほど作り、1人当たり6品目を担当します。0.01gの単位で調合を行うので、定められているレシピを正しく守ることが必須。入社して8年目、

後輩のお手本となれるような社員になることが目標です。現状の自分に満足せず「製造現場の大黒柱」を目指します。後輩の皆さんには、今から自分が本当にやりたいことを見つけ、希望が叶うように頑張してほしいです。

業界大手「高砂香料工業」のグループ企業 食品向け香料製造の西日本初となる拠点

香料分野の売上高国内トップクラスを誇る「高砂香料工業」が100%出資。西日本初の生産拠点として稼働する。食品向け香料製造の中核を担い、国内外の食品メーカーに香料を供給。おもに液体香料を製造し、年間約3000tを超えるフレーバーを生産。若い従業員が多く活気あふれる社風で、社内プロジェクトも多数。多目的コートや休憩ルームを設えた厚生棟を完備。

休日の過ごし方

釣って楽しい、食べておいしい! 釣りに夢中

会社の先輩に誘われたことがきっかけで、よく釣りに出ています。瀬戸内海ではアオリイカがよく釣れ、釣れたら楽しいし食べればおいしい、すっかりはまりました。時に忍耐力も必要ですが、大物を釣り上げた時の満足感は格別。さまざまな年代の仲間と仲良くなれるのもうれしいです。





目の前の仕事に 地道に取り組む大切さ 家族の笑顔が励み

ともくに ひゅう が
友国 飛勇河 (27歳)

2015年入社
三原市立本郷中学校・広島県立総合技術高等学校 出身



つける工程を担当。巻きつけ方が製品の品質に直結するので、緩みがないかなどに神経を使っています。妻とは共通の趣味が多く、楽しい休日と一緒に過ごすことが仕事のモチベーションに。日々地道に頑張っステップアップを目指します。

多様な分野で用いられる資材を多品種生産 社内一貫生産体制で業績を伸ばし続ける

重袋、包装資材、農業資材など多品種な製品を生産。各種包装や建築分野、自動車分野などで活用されている。昭和52年に創業し、平成25年に三原で工場を新設。製品の品質向上と納期短縮を実現し業績を伸ばす。令和3年からは三原第二工場が新築操業、令和5年には三原第三工場の新築操業開始。一貫生産体制を強化し、顧客満足度の高い製品を提供。

休日の過ごし方

共通の趣味であるツーリングを夫婦で楽しむ

結婚4年目の妻と、共通の趣味であるツーリングを満喫。妻の両親もバイカーなので、皆で県内外にバイクを走らせています。山口県へ1泊2日の旅に出たり、四国を巡ったりと行き先もさまざま。いずれは日本全国をバイクで回るのが夢で、その夢の実現に向かって仕事も頑張れます！



他部署と連携を図り 不良品の流出を防止 品質保証の責任を担う

みやずこ ゆう こ
宮迫 裕子 (35歳)

2020年入社
世羅町立甲山中学校・広島県立世羅高等学校 出身



以前は福山市で接客業の仕事に就いていましたが、両親が高齢になってきたこともあって地元近辺で働きたいと考え、こちらの会社に転職。品質保証課で、マイクロメーターやノギスという測定器を使い、部品が規定通りに製造されているかのチェックをしています。不良品の流出を未然に防ぐためには、とにかく日々の検査をきちんと行うこと。違和感に気付いた時は迅速に

他部署と情報共有し、連携を取るよう心掛けています。社会に出ると、コミュニケーションは必要不可欠です。後輩の皆さんは、今から普段の学校生活でなるべくいろいろな人とたくさん会話をし、思いを伝え合うスキルを磨いてください。

昭和30年の創業以来パイプ一筋で技術研鑽 信頼される高い品質の製品で業界を支える

カーエアコン用アルミ配管、ホースASSY、自動車用鉄配管・ステンレス配管など各パイプ製品の材料切断から塑性加工・ろう付・めっき・塗装・検査・完成まで一貫した製品加工を請け負う。近年のカーエアコン用アルミ配管では、EVやHVのバッテリー冷却用配管の製品加工も行う。社内では資格取得や専門的な知識の習得を支援し、個々の力を発揮できる環境。

自分の会社の 好きなおとこ

気さくな仲間たちと協力し合い、業務に邁進

話しやすい気さくな同僚ばかりで、何でも相談できて遠慮なく自分の意見を伝えられます。上司との距離も近く、ミーティング以外の場でも、いつでも困ったことや悩んでいることを話せる雰囲気です。そのため、どんなミスも事前に防ぐことができ、気持ち良く仕事に励めています。





食品の安全を担う 品質保証という仕事に 責任と誇りを持って

よしおみ なみ
吉沖 奈美 (23歳)

2022年入社

広島市立吉島中学校・学校法人松本学園 広島県瀬戸内高等学校 出身



るための業務を担当しています。異動になってそれほど時間が経っていないので今は慣れることに必死。早く仕事全般を覚え信頼される人材になりたいです。学生の皆さんは、今からぜひ好きなことを探してみてください。応援しています！

取引先や消費者に自信を持って製品を提供 冷凍食品、豆腐加工品の可能性を開拓

水産加工業から創業し、冷凍食品の可能性に着目して生産・加工技術を独自に進化。健康志向の需要にいち早くアプローチした豆腐の加工品においては、原料となる豆腐から自社製造することで安心安全な供給を実現している。豆腐ハンバーグといったオリジナル製品ほか、たい焼き、ワッフル製品などのアイテムをそろえ、オーダーに応じたOEMでも実績を築く。



休日の過ごし方

映画が好き! プロジェクターで映画館気分も

映画を観るのが好きで休日はよく映画館に行きます。自宅にプロジェクターを設置しているので、出掛ける時間がない時はうちでゆっくり鑑賞することもあります。また、会社ではバドミントンの会に参加し練習に汗を流すことも。1人の時間も職場の仲間との時間も大切にしています。



幅広い業務内容で 自分自身を高めていく 三原から世界へ!

わだ たくや
和田 拓也 (26歳)

2020年入社

広島市立庚午中学校・広島県立五日市高等学校 出身



就職活動時、「テクノス三原」に出会い、活気ある雰囲気に惹かれて入社。また、超音波等で対象物を破壊することなく内部解析する「非破壊検査」の仕事に興味を持ったことも、入社を決めた理由です。主に船舶の検査を担当していますが、物流や貿易の安心安全をサポートできるのがやりがいです。会社では非破壊検査のみならず、海上でバランスを取るために船舶のタ



ンクに入れている海水「バラスト水」の検査も行います。他にも橋梁点検やドローンを用いた農薬散布など業務内容は多岐にわたり、自身のレベルアップを感じています。海外での仕事もあり、三原から世界へ会社の存在を知ってもらうのが夢です。

船舶や橋梁に特化した検査サービスを提供 国内・国外案件にもフレキシブルに対応

国内7拠点他、フィリピンや中国にも事業所を持ち海外でも展開。船舶や橋梁の検査に特化しており、ハッチカバー(船の荷物を載せる蓋部分)の気密試験は世界シェアNo.1を誇る。また、プランクトンや海藻の有無を調べるバラスト水検査においてもシェア8割を超える。ISO9001及び各社員のライセンス保持により、コンプライアンスに沿った検査サービスを行う。

休日の過ごし方

ツーリングで気分爽快! 会社の人とも一緒に

ドライブやツーリングが好きで、車かバイクを気分で決めるノープランな外出を満喫しています。会社の人と世羅の方まで出掛けてランチを楽しんだり、釣りに一緒に行くこともあります。プライベートでも友好的な関係が築けているため、職場で円滑なコミュニケーションが図れています。





新業界にチャレンジ 高い人間力を持つ 頼れる先輩を目標に

あかまつ しょう
赤松 翔 (42歳)

2022年入社

尾道市立美木中学校・学校法人山中学園 如水館高等学校 出身

旅行業界で18年間働いてきた私は、縁あって現在の会社に転職。船舶装備品の製造というまったく違う分野のため、まずは図面の見方などから学んできました。旅行業界では行程表を作ったり、添乗員として同行したりと、個人で業務に関わるが多かったのですが、今は皆で一丸となって製品を作ることにやりがいを感じています。また前職で培った、時間や場所の計画を立て



てて実行する能力は、製品の完成を納期に間に合わせるという現在の仕事にも生かしています。新しい環境ながら、頼りになる先輩社員たちに恵まれ充実した日々。自分もいつか、同じように仲間から信頼される人間力を身に付けたいです。

装備品の製造で船舶業界を支えるプロ集団 “格好良く仕事する”がモットー

「納期厳守」「安心」「安全」を柱に、船舶装備品及び鉄鋼構造物を製造。船舶用プロペラ製造トップシェアを誇るメーカーを主要取引先とし、サイドスラスターをはじめとした製品を主力に、鉄鋼構造物の製造や修理も担当。また、「格好良く仕事する」を合言葉に、デニム作業服を取り入れるなど業界のイメージアップを図っている。2022年「ユースエール認定企業」に選定。

休日の過ごし方

今しか見られない子どもたちの成長と一緒に

小学生の息子と娘を連れて、海や公園、水族館に遊びに出掛けています。どんどん大きくなっていく子どもたちの姿を見てると、「父親として毎日の仕事を頑張ろう」と意欲が湧いてきます。息子は地元のサッカーチームに所属しているので、試合観戦や練習にも付き添います。



苦勞し、頑張った分 楽しさも喜びも倍増！ 仕事も遊びも全力投球

さかた まなと
坂田 燮斗 (21歳)

2021年入社

三原市立第五中学校・広島県立総合技術高等学校 出身

中学生の頃はアニメや漫画が大好き。漫画家になりたいという夢を持ちつつ、絵が壊滅的に下手だったので諦めました(笑)。またいつかやりたいことが出てきた時のために、お金を貯めたいと就職を意識。総合技術高校で空調設備や建築など、技術に結びつく学びを得て今の会社に就職しました。缶製造の最終工程に携わり、異物がないか、仕様書通りにできているか検査



を行っています。機械の故障といったトラブルも経験してきましたが、随分1人で対処できるようになりました。日々懸命に働いているからこそ、週末に友人と飲みに行く時間が最高のご褒美。苦勞や頑張りが喜びに変わると実感しています。

国内外に関連企業多数、包装容器を製造 充実の教育研修制度でキャリアアップ

暮らしに欠かせない飲料缶やPETボトルなどの包装容器を製造。国内に15カ所の事業所を展開、さらに国内45社、海外52社のグループ企業を持つ。機械のオペレーションや保全などの専門知識、技術を身に付けることができ教育研修制度が充実。新入社員は3年間の教育カリキュラムを受けることができ、同業や類似業種で経験のない場合も飛び込みやすい環境。

休日の過ごし方

遊びが仕事のモチベーション! 外出が好き

休日はほぼ家におらず、とにかく遊びに出ています。友人や同期とショッピングをしたり飲みに行ったりと、フルで満喫しています。仕事と変わらないくらい体力を使いますが(笑)、楽しい時間が何よりの活力に。遊びで心のエネルギーを充電して、仕事もいっぱい頑張れています。





利用者さんやご家族に 安心感を与えられる 訪問看護師になりたい

すぎもと あさな
杉本 秋奈 (36歳)

2022年入社
三原市立第五中学校・広島県立尾道商業高等学校 出身



医療ドラマやドキュメンタリー番組を見て、看護師の仕事に憧れを持っていました。高校の職場体験で病院へ行き、その時に見た病気と向き合う方々に寄り添う姿が印象的で看護師を志しました。三原市や福山市の病院で働いていましたが、出産を機に退職。子どもが幼稚園に入った時、縁あって「Aioi」の代表と出会い、訪問看護師になりました。訪問看護は、利用者さん主体

でケアを行えるのが良い所。利用者さんやご家族としっかりコミュニケーションを取り、利用者さんご自身が望む生活に近づけるようサポートします。住み慣れた場所で過ごすことに安心感を与えられる看護師になれるよう、知識や技術を磨きたいです。

利用者さん&家族の不安や悩みに寄り添い 自分らしい生活を送れるようサポート

在宅療養の不安や悩みに寄り添う訪問看護ステーション。経験豊富な看護師や療法士が、医師やケアマネージャーと連携し、介護保険・医療保険における訪問看護と訪問看護リハビリを行う。利用者さんが住み慣れた自宅で、安心して自分らしい生活を送れるようサポート。看護師の専門的な知識を伝え、実践することで、利用者さんはもちろん、家族の負担の軽減を目指す。



休日の過ごし方

やんちゃ盛りの息子たちと体を動かして遊ぶ

子どもたちといろいろな場所へ出掛けています。平日は、ポポロの公園や児童館など三原市内が中心。土日は夫も休みなので、ドライブがてら、広島市や島根県まで遊びに行っています。写真は、広島市植物公園での1枚。やんちゃ盛りの6歳と1歳の息子と過ごす休日は、仕事の時以上に体を動かしています(笑)。



仕事で得られる 人と人とのつながりや 心の交流こそが対価

つみやま のぶよし
積山 展佳 (34歳)

2021年入社
三原市立第三中学校 出身



学生の頃から「早く自立したい」という思いが強く、周りの友人よりも一足早く社会へ出て頑張ってきました。石材店勤務を経て、「暮らしを支える建設業界で働きたい」と思うようになり現在の会社へ。公共工事に携わっている時は近隣住民の方からお礼を言われることもあり、喜びを感じています。また、個人宅などの民間工事では、お施主様の思いを反映できるよう細かな仕様に

も気を配っているため、感謝されるケースも。金銭的価値以上のやりがいを感じ、仕事の中に見出すことができます。今後は、施工管理技士の資格取得を目指しながら、知識や経験、技術などを身に付けることが目標です。

高い信頼度を誇る地元密着の総合建設企業 健康で安心して働き続けられる環境が魅力

昭和60年に造園業として創業。以来、土木、建築など広く業務を展開。経験と技術を生かした高品質なもののづくりで官民間問わずの信頼を得ている。社内では人材育成にも力を入れ、実技講習や資格取得を支援。リフレッシュ休暇を導入し、健康で安心して働き続けられる職場づくりに注力する。社内旅行(写真)といった親睦の機会も多く、風通しの良い環境。



休日の過ごし方

子ども以上に遊びに夢中! 家族で休日満喫

もともとインドア派ですが、2人の子を育てるうちにすっかり“お出掛け大好き派”になりました。遊びを通じて子どもの成長を感じると、「父親としてもっと頑張ろう」と仕事への意欲が湧いてきます。今では「次はどこに行く?」と、子どもより真剣に遊び場を考えています(笑)。





一致団結し汗を流す 気バ知れた仲間と共に 社会を支える喜び

しほ ぼ かす や
式部 和哉 (19歳)

2022年入社

三原市立第三中学校・広島県立総合技術高等学校 出身



りチームでの協力は不可欠。安全と円滑な人間関係、確かな品質を肝に銘じて業務に励んでいます。休憩時間には雑談に花が咲くこともあり働きやすい環境。地元の祭りに職場で参加するなど、地域に根付いた絆がある点も良いと感じています。

金属表面加工のリーディングカンパニー 従業員の目線に立った福利厚生が充実

国内に6拠点の工場を持ち、金属表面加工業界で国内No.1シェアを誇る。加工が施された鋼材は船舶や橋梁、プラントといった幅広い分野で使われ、日本のものづくりをサポート。マツダ スタジアムの屋根の骨材や、広島新サッカースタジアムでも加工した鋼材が使用される。社内では従業員の子どもの入学祝い金や返済不要の奨学金制度など福利厚生が充実している。



休日の過ごし方

走ることが爽快! 大好きなバイクで各地に

友人や父親と一緒に、バイクでツーリングに出かけています。走ることが目的なので、行き先はその時の気分次第。到着した場所で食事や観光スポットを楽しむこともありますが、風を切って走る爽快感が何よりのリフレッシュ。日常の疲れやささやかな悩みが吹き飛ばすような気がします。



失敗乗り越え成長実感 資格取得で目指す 検査のスペシャリスト

くろかわ りょう
黒川 涼 (24歳)

2022年入社

東広島市立向陽中学校・広島県立西条農業高等学校 出身



もともと食品に関わる仕事をしたいと考えていましたが、就職活動中に「日本シーレーク」と出会い、今まで知らなかった非破壊検査という分野に興味を持ちました。採用担当の方がとてもフレンドリーで、三原の社屋がまだ新しく、会社の業績が右肩上がりだったのも入社を決め手です。現在は造船メインで検査を手掛けており、溶接部に傷がないかなどをチェックしています。検



査内容が難しい場合もあり、失敗も経験しましたが、だからこそ成長も実感できます。今後はより幅広い検査が行えるよう推奨資格を随時取得予定。社内では勉強時間の確保にも気を配ってもらえるので、時間を有効に活用したいです。

非破壊検査で 安心と安全を支える

石油化学プラントやコンクリート構造物、造船など、お客様の躍進を支えるベストテクニカルパートナー企業として61年目。東部支店は、非破壊検査で広島県東部エリアの安心と安全を守っている。地元採用を中心しつつ、I・Uターンにも対応。社員の有給休暇取得は年平均15日以上で、ワークライフバランスと社員ファーストがモットー。各種福利厚生が充実している。

休日の過ごし方

ゴルフやスノーボードで1年中アクティブ

体を動かすことが好きで、春～秋にかけてはゴルフを、冬はスノーボードを満喫しています。三原市はゴルフ場が多いところがお気に入り。スポーツ以外にも、映画を観たりおいしいものを食べに行きリフレッシュしています。土日にしっかり休めるので、平日の仕事を存分に頑張れます。





世の中のニーズを キャッチして製品化 海外にも自社の技術を

そのした ゆ か
木下 由加 (34歳)

2021年入社
出雲市立河南中学校・島根県立大社高等学校 出身



たりです。ニーズを踏まえた製品を提案し、お客様に「面白い商品だね」「こういうのが欲しかった」と言っていただけの瞬間が喜びです。今後は、新工場併設のカフェメニュー開発や海外に向けた技術提案を積極的に行っていきたいです。

植物乳酸菌の高濃度発酵技術を活用 「おなかを育てる」製品を国内外に提供

「おなかを育てる」をコンセプトに1897年創業。牛乳、ヨーグルト、プリンといった製品からスタートし、現在は世界的にも珍しい植物乳酸菌の高濃度発酵技術を応用した事業に特化。海外の乳業メーカーに向けた発酵の技術指導や発酵原料の提供、植物乳酸菌のヒト臨床試験、腸内フローラ分析等も行っている。2023年に新工場「マイ・フローラ プラント」を新設。



休日の過ごし方

家族と山登り! 山頂で食べる登山飯が最高

山々の自然の中で、時には家族と、時には一人で過ごす時間を大切にしています。県内の山のみならず遠出して日本アルプスにも挑戦。肌寒い山頂で、インスタントの袋麺を作って食べるのが登山での一番の楽しみです。少しでも他者と距離を置くことで、自分を取り戻せるような気がします。



真バ込めた商品で 笑顔や幸せを届けたい 思いは伝わると信じて

おあまえ きょう こ
大前 今日子 (25歳)

2021年入社
尾道市立長江中学校・広島県立尾道北高等学校 出身



幼い頃からバレエを習い、「将来はミュージカルダンサーになりたい」と思っていました。「人に笑顔や幸せを届けたい」という気持ちは、あの頃も今も変わっていません。入社1年目は製造を経験し、現在は企画開発を担当。自分が提案した商品がカタチになってお客様のもとに届き、「おいしかった」と言ってもらえるのが何よりの喜びです。以前、人気アパレルブランドとコラボした



食のイノベーションで人づくりを行う ソーシャルイノベーションカンパニー

昭和8年に三原市港町で創業。和菓子屋からパン屋、看板商品「くりむパン」の専門業態、パン&和洋菓子のハイブリッド業態へと進化を続ける。アライアンス・コラボレーションやビジネスモデル開発も推進。新しい食文化を世界中の人々へ提案すると共に、未来に必要な人材創造企業を目指す。働きやすい環境づくりにも注力し、2024年度より週休3日制を導入予定。

休日の過ごし方

お出掛け満喫!新たな発見が仕事のヒントに

買い物やカフェに行ったり、自然豊かな場所へ出掛けたりと、休日は外の空気を吸ってリフレッシュしています。しまなみ海道を訪れた時はお天気も良くて、最高の景色を楽しめました。いろいろなところでアンテナを張り、仕事に生かせるものがないかひそかにネタ探しもしています!



株式会社八天堂
×
総合技術高等学校

広い視野を持って何でも積極的に挑戦 経験が、自信や成長の糧になっていく



株式会社八天堂
広報プランディング室 係長代理
いとう
伊藤 みづき (26歳)
(2019年入社)

広島県立総合技術高等学校
現代ビジネス科2年
あんど うな
安藤 優菜

広島県立総合技術高等学校
情報技術科2年
いいだ ゆい
飯田 結衣

総合技術高校の生徒が、卒業した先輩に
卒業後の進路や就職先について
話を伺いました。

将来のビジョンから逆算して
必要な知識や技術を習得する



——総合技術高校を卒業した先輩を招いて進路や就職についての話を聞き、これからの指針になればと思います。高校生の皆さんは、聞いてみたいことがあれば何でもお願いします。

安藤:私は現在、簿記やマーケティング、ビジネスで使うパソコンスキルについて学んでいます。高校卒業後は就職を考えているのですが、伊藤さんはなぜ今の会社に入られたのですか？ また、仕事をしていて必要だと感じる資格やスキルはありますか？

伊藤:総合技術高校に在学中、八天堂と総合技術高校の生徒がコラボして新商品を生み出すプロジェクトがありました。その機会に八天堂を知り、高校時代にお世話

になった土地で何か地域貢献ができなかなと思い、八天堂に入社しました。憧れの八天堂に入社後はEC事業部に通信販売の業務に4年間携わり、今春から広報として情報発信の仕事をしています。必要だと感じるスキルはいろいろありますが、例えば私がかっていたEC事業部であれば通信販売に関する資格や検定を、今いる広報であれば、語彙力を養うことや正しい日本語の使い方を勉強しておくといひかもしれません。

飯田:私は高校卒業後に、市役所などの行政機関に入れたらと考えています。今から身に付けておいたほうがいい能力はなんですか？

伊藤:どの仕事に就いても大切になってくるのは、コミュニケーション能力です。学校でも、気が合う人もいれば、ソリが合わない人もいます

ずです。けれど、臆さずいろいろな人と接するうちに、上手な付き合いができるようになると思いますよ。

飯田:固定メンバーとばかりつい話しちゃうから……ほかの人にも話しかけてみます！

——ほかに知りたいことや、相談したいことがあればお願いします。

安藤:八天堂さんの会社の雰囲気が知りたいです。

伊藤:20代～30代の若い社員が多く、誰とも遠慮なく話ができる風通しの良い職場です。八天堂では、「あなたと出会えて良かったと言ってもらえる人づくり」を基本理念としているので、仕事で関わる人や地域のために役立ちたいと考えて行動する人が多いです。そういう人は、若いうちからいろいろなプロジェクトに関わる機会があるので、やりがいにもつながりますね。

飯田:お休みや、ステップアップができる環境かについても教えてほしいです。

伊藤:お休みはしっかり取れる環境で、仕事とプライベートを両立させやすいです。育児中な

ど、状況に応じてフレキシブルな勤務形態も認められていて、時短や自宅勤務を選ぶこともできます。ちなみに来年から週休3日制を導入予定なので、魅力に感じる人も多いのではないのでしょうか。ステップアップに関しては、半年ごとの評価制度が取り入れられていて、職場の方針に沿って上司と決めた目標を、進捗ミーティングをしながら進めます。目標を達成した時の喜びや将来の目指す姿に向けた成長を感じることができそうです。

安藤:とても働きやすそうな職場ですね。先のことはまだ分からないけど、自分が将来働くとしたら、自分の時間も家族の時間も大事にできたらと思います。

伊藤:その点も八天堂はかなり考えてくれていて、例えば八天堂ビレッジ(本郷町に位置するテーマパーク)には「りんくう保育園」があり、お子さんを預けている社員が多いです。仕事の行き帰りにすぐに立ち寄れるので送迎時間の短縮になり、たまに散歩中のお子さんを仕事に見かけることもあるみたいです。

飯田:仕事と家庭を両立できるのはいいですね。家庭の都合でいったん会社を辞めたけど、戻ってこられた方はいるのですか？



伊藤:はい。八天堂には、8ターン制度という、過去に勤められていた方が戻って働いていただけの制度を準備していて、利用された方もいらっしゃると思います。他にも、産休・育休後に、元の職場に戻って働いていただいている方も多くいます。

飯田:私は絵を描くのが好きなのですが、自分の得意なことや、女性ならではの目線が活かせる業務はありますか？

伊藤:とくに男性か女性かで決まるわけではないのですが、例えば企画開発部で一から商品を立ち上げる仕事は女性向きかもしれませんね。スイーツ好きの人が多いので、デパ地下を巡ったりコンビニの新商品をチェックしたりと、普段からアンテナを張っていますし。そういうちょっとした情報が、新商品のアイデアにつながります。それから、カフェリエ(飲食店)で接客やサービスを希望される女性社員もいます。メニュー考案もしているので、料理好きの人は楽しいみたいです。

安藤:私も絵を描いたりこまかい作業が好きなので、ポップを描いたり、リーフレットを作りたいなあ。

伊藤:自分の好きなことや、やりたいことが明確に分かっているなら、定めた目標に向かって進んでいったらいいと思うし、分からなくてもとりあえずいろんなことをやってみたらいいのかなと思います。「これしかできない」と視野を狭めてしまうのはもったいないので、自分の限界を決めないことが大事です。高校生はまだまだ何でもできるし、何でもやれる年代です。恐れずチャレンジしたことが自分自身の成長や自信につながっていくと思うので、頑張ってください！

得意なことや好きなことを生かす
限界を決めるのはもったいない





見習いとして勉強中 将来は三原を代表する 美容師になるのが目標

おばな みくと
尾花 宙星 (19歳)

2023年入社

三原市立第三中学校・学校法人山中学園 如水館高等学校 出身

中学生の頃はサッカー部に所属。ある時気合いを入れるため、皆で坊主頭にすることに。せっかくなので、刈り上げる前段階で色々な髪型に挑戦しました。その時はツーブロックを試してみたのですが、雰囲気がガラリと変わることや、友達の髪を切るのが楽しく、それがきっかけで美容師を志すようになりました。今はまだアシスタントなので、シャンプーやフロント業務をこなすくらいで



ですが、いつか三原を代表するような美容師になるのが夢です。まずは当面の目標である“No.1アシスタント”を目指しています。夢がまだ見つからない学生の皆さんは、ぜひ思い切って色々なことに挑戦してみてください。

三原からオシャレを発信する理美容室 キッズスペース完備で子育て世代にも配慮

「三原にこだわり、三原からオシャレを発信する」がテーマ。レディースとメンズが完全にセパレートされ、理容室と美容室を備える。最先端の技術や美容材料を仕入れ、老若男女問わない“かっこよさ”“可愛さ”を提供。店内は広めのレイアウトでゆったりと座席を確保しキッズスペースも完備。子育て世代にも「安心してくつろげる」と好評を博している。

休日の過ごし方

多彩な分野で活躍する地元の友人と集合!

小学校の頃から仲良くしている友人たちと集まり、おしゃべりを楽しんだり、ドライブに出かけています。中にはラッパーとして活躍しているメンバーもいて、友人が作った曲のレコーディングを手伝ったりもしています。自分とは違う分野で頑張る友人の姿に、刺激や元気をもらっています。



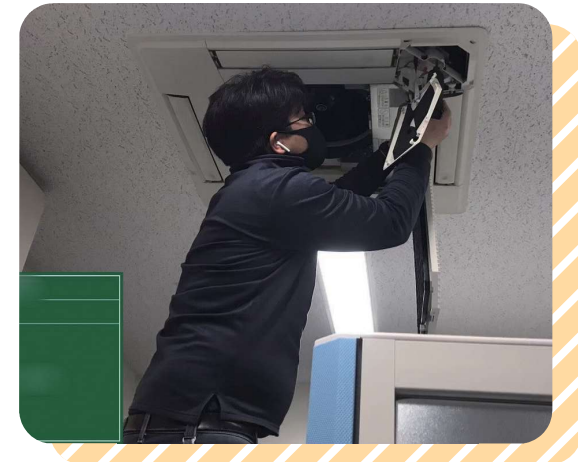
父親の背中を見て 同じ職人の道へ。 お客様の笑顔が励み

ひろ え ゆうへい
廣江 佑平 (34歳)

2019年入社

福山市立誠之中学校・広島県立松永高等学校 出身

個人宅や工場、学校などを訪問し、空調を取り付ける仕事をしています。三原市役所や給食センターなども担当しました。入社のきっかけは、父が平田空調に勤めており、働く姿を見ていて、自分も同じような職人になりたいと思ったから。父のどんな時も懸命に働く姿勢は、私が仕事をする上で大切にしていることの1つで、お客様の思いに寄り添った丁寧な施工を心掛けています。



取り付け後に、笑顔で喜んでくれたり、「きれいに取り付けられたね」など声をかけてもらえるのが最もうれしい瞬間。これからも頑張ろうというモチベーションにつながります。新しい試みに果敢に挑戦し、会社の飛躍に貢献するのが今後の目標です。

「空間を快適に過ごす」をテーマに 空調工事を一貫体制で行うスペシャリスト

大型商業施設、病院、オフィス、一般家庭などを対象に、製作・取り付けからアフターフォローまで空調工事に関する全てを一貫体制で行う。安心・安全を第一に、プロ意識を高く持ち、ダクト工事、冷媒配管工事、業務用・家庭用エアコンまで幅広く対応。社員教育にも力を入れ、資格取得ができるよう支援。2年連続で「健康経営優良法人」に認定。

自分の会社の 好きなおとこ

アットホームな社風と頼れる社長&仲間

フレンドリーで話しやすい人が多いアットホームな会社です。社長や仲間に意見や要望を言いやすく、困りごとがあった時は一緒に考え、アドバイスをしてくれるので心強いです。会社が費用を負担し、定期的に資格取得試験が受けられるのも魅力。自分自身がスキルアップし、仕事の幅を広げるため、資格取得に励んでいます。





信頼を寄せてくれる お客様や仲間を大切に 実直に仕事をこなす

 やま だ ひでつぐ
山田 英嗣 (35歳)

2012年入社

三原市立幸崎中学校・広島県立三原高等学校 出身



わっても、以前担当していたお客様から「山田さんに来てほしい」と連絡をいただく時は、信頼されているのかなど喜びを感じます。これからも自分を頼ってくれるお客様や会社の仲間を大切に、一層の努力を重ねたいです。

LPガス供給や住設機器販売、リフォームで 地域社会に安全と快適な生活環境を提供

LPガス供給事業を通じて安全と快適な生活環境を提供すると共に、地域社会に貢献。地元へ根付く事業展開を目指し、お客様との接点を大切にしながら、住設機器の販売やリフォームの提案でより良い暮らしを届けられるよう力を入れます。社内のコミュニケーションが活発で、困難な課題解決を全体で図ろうとする企業風土。免許取得支援など各種制度も充実。



休日の過ごし方

自宅でゆっくりと休息、愛車の手入れも

当直勤務もしているので、休みの日は疲れを取るために、自宅でテレビを観たりゲームをしてゆっくり過ごしています。時には3台目になる車の手入れを行うことも。2台目のバージョンアップとなるスバルのレヴォーグが愛車で、長く乗れるよう洗車やメンテナンスをこまめにしています。



子どもたちの成長を 保護者と一緒に 喜び合える幸せ

 かど けんだい
門 健大 (28歳)

2018年入社

広島大学附属三原中学校・学校法人山中学園 如水館高等学校 出身

幼小中の一貫校に通っていたため、中学時代は幼稚園児と交流する機会がよくありました。子どもの笑顔を見ていると、自然と自分も笑顔になり、将来は子どもに関わる仕事に就きたいと思うようになりました。保育士になって5年、現在は1歳児の担当をしています。1番のやりがいは、子どもたちの成長をすぐ側で支えられること。「〇〇ができた」「〇〇を頑張った」など、その日あった出来事を保護者の方に伝え、共感し、一緒に喜び合えるのが魅力です。今後はスキルを積み重ねて保育の質を上げ、登園から降園まで、保護者が安心して預けられる保育士を目指していきたいです。男性保育士がもっと増えるとうれしいですね。



た出来事を保護者の方に伝え、共感し、一緒に喜び合えるのが魅力です。今後はスキルを積み重ねて保育の質を上げ、登園から降園まで、保護者が安心して預けられる保育士を目指していきたいです。男性保育士がもっと増えるとうれしいですね。

都市型の認可保育所をオープン！ 園児の個性を大切にした集団保育を提供

「にじいろドレミ園」は、小規模保育園「子どもサロンドレミ園」から、60人定員の保育所へ移行し、令和5年10月に開園した認可保育所。子供たちの生活の場として、安心・安全な保育を提供している。業務管理の整備、保護者様との連携ツールとしてICTシステムを導入。「食育」に力を入れるとともに、一人ひとりの個性を大切にする、きめ細やかな保育を目指す。

自分の会社の 好きなおとこ

家庭的な雰囲気&頼れる先輩が多い

家庭的な雰囲気の中で、のびのびとした保育ができます。頼れる先輩保育士がたくさんいて、仕事の相談が気軽にできるのも魅力。「今日こういうことがあったが、どうすればよかったか」など保育に関する相談をすると、いつもの確に指導してくれます。男性保育士は一人だけですが、とても働きやすく楽しい職場です。





ダイナミックな クレーン操作に夢中 真摯に仕事と向き合う

なかやま まつや
中山 哲也 (26歳)

2022年入社

三次市立甲奴中学校・広島県立世羅高等学校 出身



と達成感もひとしおです。また、現場ではさまざまな職人さんがいるため、コミュニケーションが必須。最初は連携を取りづらかった職人さんから「今日はありがとう。助かったよ」と声をかけてもらえるとうれいを感じます。

安全第一がモットーのクレーン工事を提供 社会変化を捉えたハイレベルな技術が武器

「先進技術の翼を動かし未来を築く」を企業理念とし、発展的な経営と安心安全の提供、人間力向上を図っている。安全第一と技術力アップ、成長を行動指針に掲げ、クレーン作業、仮設工事、橋梁架設工事、一般土木工事、プラント組立や解体工事を行う。昭和44年の創業以来、社会変化を意識し、安全と信頼に応えられるハイレベルな技術を提供し続けている。



自分の会社の 好きなおとこ

クレーンのおしゃれな塗装と社員の仲の良さ

デザイン性の高い鮮やかなクレーンは、見ているだけでテンションが上がります。先輩たちがこまめな点検や洗車でクレーンを大切にしている姿勢も見習いたいです。また、社内は年齢性別問わず仲が良く和気あいあいとした雰囲気。仕事の合間のちょっとした談笑に元気をもらっています。

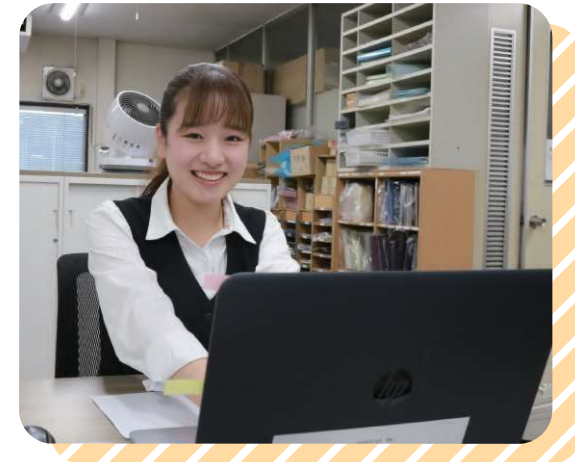


縁の下のカ持ちとして 仕事が円滑に進むよう 事務まわりを担当

わかもと あい
若本 葵 (20歳)

2022年入社

福山市立大成館中学校・広島県立松永高等学校 出身



両親から事務職を勧められたこと、銀行員の叔母からお金の数え方を教えてもらって興味を持ち、事務の仕事を中心に就職活動を行いました。普段は経理を担当し入出金の管理や集計作業をしています。金額が1円でも間違っていたら大変で合うまで何度も計算し直します。焦るとさらにミスをするので一度冷静になるよう心掛けています。また、お客様の荷物をお預かりして

在庫管理するのも重要な業務。傷付けられないよう丁寧な箱詰め作業に気を配っています。電話対応があまり得意ではないので、今後は先輩方を見習いスキルアップするのが目標。顔が見えないからこそ心のこもった対応を大切にしたいです。

企業間をメインに行うトラック貨物輸送 多様な取り組みで物流フロンティアを先駆

企業間を中心にした、トラックによる貨物輸送事業を展開。全国に支店を設けてネットワークを構築、国内拠点数は約400ヶ所にのぼる。さらに通関拠点やロジスティクス拠点を設け、通関業務から商品管理、加工、配送までのニーズに応えられる複合一貫輸送にも力を入れる。免許や資格取得の助成及び手当の支給など、キャリアステップのためのサポートも充実。



休日の過ごし方

大好きなカープの試合観戦で元気チャージ!

両親ともに大ファンの広島東洋カープの試合を幼い頃から何度も目にしてきました。今では私も妹もすっかりカープ女子。普段はテレビ観戦がほとんどですが、ここぞという時はスタジアムに駆け付けます。一生懸命に闘う選手たちを見ると、応援している私たちも元気をもらえます!



福山通運株式会社
×
三原東高等学校

良い人間関係が良い仕事の基盤になる 積極的なコミュニケーションを大事に



福山通運株式会社 営業
おばた ちか
小島 千佳 (29歳)
(2016年入社)

広島県立三原東高等学校 2年
たむら なな
田村 凧菜

広島県立三原東高等学校 2年
いのおく ふうか
猪之奥 風香

進路や就職についてのアドバイスを
三原東高校卒業の先輩にもらいました。

家族を支えられる地元就職
身近なところで見つける目標



——今日は、三原東高校を卒業した先輩に話を伺いながら、進路や就職について考えを深めていきましょう。聞いてみたいことなど、それぞれ自由をお願いします。

田村:私は現在、情報経済学科を目標に大学進学を考えています。将来的にはパソコンを使った仕事ができたらと思っているのですが、小島さんは高校卒業後どのような進路を選ばれたのですか？

小島:私は手に職をつけたいと考え、製菓の専門学校に進学しました。卒業後はカフェに勤務していたのですが、数年間勤めてはかの世界も見たいと思うようになり、ハローワークで転職の相談をしました。そこで出合ったのが福山通運です。

猪之奥:福山通運さんに転職を決めた理由は何ですか？ 親は苦労して私を育ててくれました。私も早く社会に出て、親を支えられるようになりたいです。

小島:福山通運が自宅に荷物を届けてくれることがあり、親しみをもっていたことが理由のひとつです。それから地元に関差した会社であること。両親も祖父母も三原に住んでいるので地元から離れたくないと思っていました。猪之奥さんも三原での就職を考えているのですか？

猪之奥:はい。母も祖母も介護職に就いているので、同じ道に進もうかと思っています。先輩としていろいろなことを教えてもらえそうなので。

小島:それはいいですね。田村さんは進学希望とのことですが、その後は三原での就職を希望されているのですか？

田村:私は東広島出身で地元での就職を考えていますが、三原東高校に通うようになり、三原で働くのもいいなと思うようになりました。街にいる人も意外と多くて、魅力的な仕事がたくさんある気がします。

——働く上での悩みや、キャリア構築について聞いてみたいことがあればお願いします。

猪之奥:周りの人への対応や、仕事が覚えられるか不安です。小島さんは普段どんな仕事をされているのですか？ また、大変なことは何ですか？

小島:私が担当しているのは、お客様からお預かりした荷物が無事に届いているかの確認や、データ集計などです。データ集計に関しては数字が間違っていると大変なので神経を使います。また、物流の繁忙期である年末年始やお盆は遅延などのトラブルが生まれやすくなります。お客様からのクレームも多くなりがちなので、より丁寧な対応を心がけています。

猪之奥:トラブル対応には自信がないです

……。

小島:最初は誰でも、いろいろと失敗するものだと思います。むしろ、10代20代は“失敗を経験する時期”だと皆が思っているから大丈夫ですよ。それよりも、仕事に対してのやる気や真面目さがあるかどうかを周りは見ている。一生懸命に取り組みたいという気持ちは必ず伝わるので、職場でもそうですが、お客様に対しても熱意や誠意を伝えることが大事です。

田村:仕事をする上でのやりがいは何ですか？ また、福山通運さんではキャリアアップ制度などはありますか？

小島:やりがいは、お客様に頼りにされること。電話対応もしているの、お客様に名前を覚えてもらい、「小島さんに聞きたいと思ってたんだよ」と言ってもらえると嬉しいです。キャリアアップについての制度も、いろいろと整っています。女性の管理職も増えていき、資格取得の支援制度もあるので、自分からどんどん勉強して知識や技術を身に付け、ステップアップすることが可能です。ちなみに、社内の一定基準により活躍が認定された社員が招待され



る研修旅行もあります。海外旅行もあるので、働くモチベーションにつながりますよ。

田村:働きやすいと感じる部分があれば教えてください。

小島:事務所は女性が多くて、同性ならではの悩みを共有できます。産休や育休についても当たり前理解されているので、皆さん必ず復職されますよ。特別な理由がなくても、お休みもかなり取りやすい環境です。

猪之奥:小島さんもお休みを取るのですか？

小島:この前は友人と旅行に行くために連休をいただきました。休み明けは同僚と土産話で盛り上がりたりして、そういった部分で楽しいと感じられるのも、同性が多い職場ならではの気がします。「今日も楽しかった」と言って一日を終えることが多いですね(笑)。

田村:すごく仲の良い職場なんですね。人間関係が大変だと感じることはありませんか？

小島:大変だと感じるよりも、支えられていると感じる場合が多いです。先輩にはいろいろと教えてもらうことが多いし、後輩からも学ぶことがたくさんあります。良い人間関係を構築するのは、良い仕事をする上で最も大切な基盤だと思うので、学校生活の中でも積極的なコミュニケーションを心がけて、たくさんの人と接してみてください。きっとそれが、社会に出てからも役に立つと思います。

田村:ありがとうございます。これからの進路を考えるうえで今日はとてもいい刺激になりました。

猪之奥:ありがとうございました。



毎日「楽しい」と思える職場は
互いを思いやる心から生まれる



計画的に工事を進め 町をかたちづくる 景色の変化に面白さ

にしかわ さいと
西川 禄斗 (23歳)

2020年入社

三原市立第五中学校・広島県立総合技術高等学校 出身

「まったく違う業界に飛び込んでみたい」と思い、パン屋から建設業に転職。面接時に感じた温かい雰囲気に惹かれ「藤井建設」に入社しました。施工管理の業務を担当し、職人さんたちと力を合わせて工事を進めています。何もなかった場所に施設が出来上がっていく光景は、何度見ても見飽きることがありません。また、工事には資材不足などがつきものなので、工期内に



仕事が終わられるよう先々を見越して計画することが大事だと感じます。数ヶ月で現場が変わるため、毎回フレッシュな気持ちになれるのもうれしい点。ゆくゆくは「この人のもとで仕事がしたい」と思ってもらえる施行管理者を目指します。

市内全域で20～60代までが幅広く活躍中! 生活を支える水道・土木施設工事を担当

三原市全域において、水道施設工事や土木施設工事をメインに携わる。公共の配水管の新設や取替、道路改良、災害復旧などのほか、個人宅の水漏れ修理、風呂・トイレなど水回りの部品取替といった業務も手掛ける。社内では20～60代まで幅広い年齢層の社員が在籍し、技術や知識を相互で学び合える環境。須波港近くに社屋が位置し、瀬戸内海の景色も楽しめる。

休日の過ごし方

おいしい、楽しい、きれいなスポットへ遠出

休日は少し遠出して、カフェやレストラン、遊園地、美術館などを巡ります。写真は世羅高原のチューリップ祭りの様子。おいしいものが食べられるところや、きれいな景色が好きです。三原は広島方面や岡山方面へもアクセスしやすく、ドライブに出るのに最適な土地だと感じます。



勉強や研究を重ね お客様に似合う 理想の髪型を提案

やまじ こうだい
山路 幸大 (28歳)

2016年入社

三原市立幸崎中学校・広島県立竹原高等学校 出身

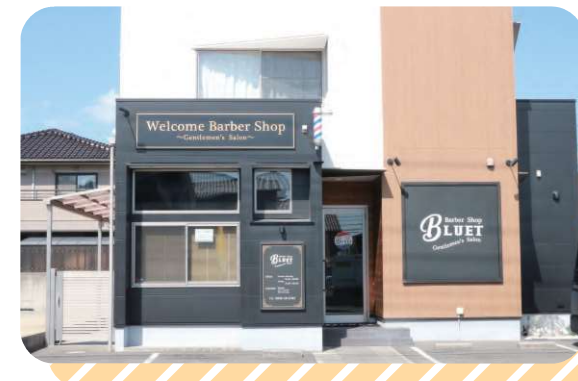
叔父が理容師をしており、学生時代はよく髪を切ってもらっていました。好み通りの髪型に仕上げてくれてすごいと感じると同時に、プロの姿に憧れ、同じ道を志すように。店は刈り上げのフェードスタイルが得意で、どれだけお客様の理想に近づけられるかが腕の見せ所。Instagramではほかの理容師の技術を学んだり、流行りの髪型を研究しています。また、今年はスタイリングコレク



ション中国大会のメンズフェードスタイル部門で優勝を飾ることができました。身に付けた技術でお客様に喜んでもらえる理容師は天職。理美容業に興味を持つ学生の皆さんは、このやりがいある業界にぜひ飛び込んできてほしいです!

“男を磨く場所”がコンセプトの理容室 フェードスタイルが得意で受賞歴も多数

バーバースタイルを中心とした多彩なメンズヘアに対応。特に裾を刈り上げるフェードスタイルを得意としコンテストでの受賞歴も多数。“男を磨く場所”をコンセプトに、メンズに特化した多彩なサービスを提供する。ヘアカットに加え、シェービング、育毛ケア、フェイシャルケア、ヘッドスパなどのメニューを展開。クラシックで上質な空間も好評を博す。



休日の過ごし方

SNSで流行チェック! 美味しいものを食べ歩き

流行をチェックするのにSNSは欠かせません。色々なヘアスタイルをリサーチしながら、人気のグルメもチェック。休みの日は妻と一緒に評判の店で食べ歩きをしています。妻も美容師なので、仕事の話題で盛り上がることもしばしば。時には息抜きをしながら、夫婦で切磋琢磨しています。





目に見えないものを 想像し、作るという 難しさ&やりがいを実感

むらかみ れん
村上 蓮 (25歳)

2019年入社

今治市立宮窪中学校・国立弓削商船高等専門学校 出身



えた時は誇らしい気持ちになります。設計を行う上では、お客様の声を届けてくれる営業社員や、実際に形にする製造社員と連携を取ることが必須。これからもお客様の目線に立った、本当に使いやすい機械設計を手掛けていきたいです。

食の安心・安全を陰で支える立役者 “当たり前”を作る包装機械のパイオニア

包装に使われる真空包装機や自動袋詰めシール機など、自動化機械の設計・製造・販売を一貫して行う機械メーカー。スーパーやコンビニエンスストアで販売している肉・魚・菓子・総菜などの食品ほか、医療関連品や工業製品等の各種包装機器を手掛け、あらゆる包装ニーズに応えている。多様なオプションを用意し、顧客の要望を最大限実現する製品を提案する。



休日の過ごし方

海も山もある三原近郊で気ままにツーリング

幼い頃から車やバイクなどの乗り物が大好きで、休日はバイクでツーリングに出掛けることが多いです。海も山もそろそろ三原はどこも景色が良く、須波や筆影山、竜王みはらしラインがお気に入りです。時にはカメラを持参し写真を撮って楽しむことも。眺めの良い場所に癒やされています。



責任と誇りを持って 鉄道の電気工事を行い 交通インフラを支える

もちづき せいな
望月 星那 (24歳)

2016年入社

三原市立第二中学校・学校法人尾道学園 尾道高等学校 出身



重要な交通インフラの一つである鉄道の電気工事を行っています。道路と線路の両方を走る軌陸車という車両に乗って作業をしますが、終電後から始発前までしかできないため、作業は深夜に。時間内に終わらなかったり、ミスがあって電車が動かないと、何万人にも迷惑がかかるので責任は重大。少しでも不安なことがあれば、すぐに先輩に確認し、問題を解決するように心がけています。



確かな技術力と強いチームワークで JRや火力発電所の電気設備工事を担う

1969年の創業以来、電気工事一筋。設計から施工まで、確かな技術力と強いチームワークで、数多くの実績を積み重ねてきた。高い専門性が求められるJR西日本各駅に関する設備の電気工事をはじめ、火力発電設備工事、工場やビル、病院などの電気設備工事まで、幅広く対応。さまざまな場所で産業や生活を支える重要な役割を担っており、取引先からの信頼も厚い。

自分の会社の 好きなところ

先輩たちとBBQやゴルフを満喫!

当社では、年に2回以上、BBQなどの懇親会があります。コロナ禍の前は、社員旅行で伊勢神宮や福岡に行きました。ゴルフ好きな人が多いため、一緒にコースを周ることもありますが、先輩にスコアで勝ったときはとてもうれしいです(笑)。仕事に関しては厳しい先輩たちと、壁を取っ払って楽しめるのが魅力です。





会社の柱となる 人材を目指して 経験を積み重ねる

よしほら しょう
吉原 匠 (24歳)

2021年入社

小松島市立坂野中学校・徳島県立徳島科学技術高等学校 出身



現場を任せてもらえる技量を身に付けることができました。現場管理は、イレギュラーなことにも臨機応変に対応し、常に先を考えて行動しないとイケない仕事。さらに能力を向上させて、リーダーシップを身に付け、会社の柱となる人材になりたいです。

お客様からの絶大な信頼と 社員同士の団結力が強み

工場および一般住宅の新築・リフォームを主に施工する建設会社。ほぼ固定のお客様に対応し、現地調査→見積り作成(工事提案)→工事着手→引き渡しの順番に進めていく。三原営業所は、主要部門として70年以上営業、多くの固定客から信頼を得ている。一人ひとりの考えを共有し、良い作業環境を作ることに取り組み、営業所全体が団結して仕事をしている。



休日の過ごし方

ゴルフやジムで思い切り体を動かす!

ゴルフにハマリ、仕事終わりに打ちっぱなしに行ったり、休日にはコースに出たりしています。まだ始めて1年ほどですが、着実に上達していると思います(笑)。目標は、スコア100切り! 最近ではジムにも通いはじめました。ずっとスポーツをしていたので、体を動かすことが楽しく、心身のリフレッシュになっています。



地元の情報発信拠点で 人と地域と繋がる幸せ 自分らしく前進を

おか ゆうき
岡 佑樹 (25歳)

2018年入社

三原市立第三中学校・学校法人喜田学園 東林館高等学校 出身



学生時代は不登校を経験し、具体的な夢を描けずにいました。サポートしてくれる人たちのおかげで少しずつ前向きになれ、卒業後は、就労支援施設を通じてイベントなどに参加することで「地域に関わる仕事がしたい」と考えるようになりました。就職した道の駅は、まさに思い描いていた職場。品物を卸す業者さんや農家さんと言葉を交わし、訪れたお客様に「また買いに来る

ね」と声をかけていただくと、地域のつながりづくりに携われている喜びを感じます。学生の皆さんも先が見えない時期があるかもしれませんが、助けてくれる人は必ずいます。「何とかなる」の精神でゆっくり進んでも大丈夫ですよ。



道の駅「みはら神明の里」を管理運営 地産品販売や独自サービスで地元へ貢献

地元生産者による農水産物、名物を販売。近年では道の駅オリジナル商品や、三原の新名物「みはらプリン」の開発・販売にも力を入れる。安芸高田市、北広島町と毛利元就の「三矢の訓え」にちなんだコラボイベントも開催。移動販売車「神明ちゃん」では、高齢者などが多い買い物が難しいエリアに出向き生鮮品などを販売。地域住民に喜ばれている。

休日の過ごし方

ライブ参加や聖地巡礼で推し活をエンジョイ

好きなアーティストのライブに行ったり、アニメの聖地巡礼に出かけています。特に好きなのは、推しアニメの聖地である東京・お台場。夜の雰囲気が最高で、舞台となったスポットを巡りつつ、レインボーブリッジと都心の夜景を眺めています。年に数回訪れるくらい大好きな場所です。





学生時代の頑張り 憧れの世界への切符に まずは積極的な行動を

いのほら たいせい
猪原 大空 (22歳)

2020年入社

尾道市立日比崎中学校・広島県立総合技術高等学校 出身



わり、台車部品の溶接行程を請け負っています。図面通りになるよう、いかに正確に作業をこなすかが重要なので、今後も必要なスキルを貪欲に身に付けたいです。また、健康と安全第一に気を配り、いずれは後進育成ができるような人材を目指します。

高いエンジニアリング力と経験豊富な人材 「快適な暮らし」と「豊かな社会」を創造

蒸気機関車及び鉄道車両空気ブレーキの専門工場として発足し、現在は3つの工場を拠点に活動を展開。エンジニアリングセグメントは古浜工場で国内シェアのおよそ半分の保持する新幹線や電車のブレーキ装置を製造し、和田沖工場でゴムタイヤ式新交通システム車両、超低床式路面電車などを製造。三菱重工業のものづくりにおける確かな技術力を持つ。



休日の過ごし方

職場の先輩や友人、親戚とゴルフをプレー

体力づくりも兼ねて、現在の職場に配属された頃からゴルフを始めました。職場の先輩や友人、親戚にもゴルフ仲間が多く一緒にプレーを楽しんでいます。県外のゴルフ場に行くこともあり、観光や旅行もセットで満喫。年齢を重ねてもしっかり働けるような体と健康をキープしたいです。(写真:右端が本人)



オールラウンドな 技術者を目指して 世界中を飛び回る

ますほら ようへい
増原 遥平 (26歳)

2016年入社

三原市立本郷中学校・広島県立総合技術高等学校 出身



幼い頃から機械が好きで、自動車や電車、お菓子の製造機などが動いていると夢中で見ていました。総合技術高校の電子機械科に進学し、ものづくりについて学ぶうちに、機械に関わる仕事に就きたいと思うように。現在は、製函機という段ボール箱を作る機械の試運転と、工場での機械据付を担当しています。海外へ行くことも多く、世界各国の人と出会い、多彩な文化に



高い技術力を駆使し機械を開発・製造 世界を舞台に活躍するグローバル企業

世界最高レベルの技術力を駆使し、品質・高生産性・省資源など高付加価値の機械を開発・製造。印刷紙工機械事業本部で製造された紙工機械、輪転機、ゴム・タイヤ機械は、信頼性や経済性が高く評価されている。主力製品である製函機「EVOL(エボル)」は、日本国内のみならず、世界32カ国で稼働。グローバルにビジネス展開し、社員は世界各国を相手に活躍している。

休日の過ごし方

愛車のバイクで日本各地をツーリング

愛車のバイク・ZX-14Rに乗って、いろんな場所へ出掛けています。三原の海沿いや竜王山へ登る「竜王みはらしライン」の景色が良く、お気に入り。島根県など県外に行ったり、大型連休には九州や四国、中部地方まで足を延ばし、御朱印を集めたりしています。写真は、3泊4日で富士山周辺に行った時の1枚。



三菱重工機械
システム株式会社
×
三原東高等学校

いまできることにチャレンジしながら 自分らしく、納得できる進路選択を



三菱重工機械システム株式会社
印刷紙工機械事業本部
事業管理部 安全環境課
たけもと ゆうほ
竹本 裕穂
(2006年入社)

広島県立三原東高等学校2年
かねしま あまね
金島 天音

広島県立三原東高等学校2年
とよた さや
豊田 紗也

目の前の進路に迷う高校2年生が
先輩社会人に、仕事や働き方について
聞きました!

夢は時と共に変わってもいい
その時やりたいことに挑戦して



——今日は地元で働く先輩社会人に、高校生のお二人からいろいろと話を聞いていただいて、卒業後の進路について考えを深めるきっかけにできたらと思います。まず、高校生のお二人から聞いてみたいことがあればお願いします。

金島:今日はありがとうございます。はじめに、竹本さんがいまの職場を選ばれた理由から聞かせていただけますか。また、高校生のお二人から聞いてみたいことがあればお願いします。

竹本:高校生の頃は音楽の道を志し、迷うことなく音大へ。けれど大学卒業時に音楽教員の採用枠がなく……。ハローワークに紹介してもらったのが現在の職場です。地元に住み続けたいと思っていたので、地域

に根付いている会社を紹介いただき、ありがたかったです。

豊田:私は進学するか就職するかも決まっていなくて。どうすれば自分の道を、自信をもって選択することができるでしょうか。

竹本:例えば自分の好きなことがわからなくても、「この街に住んでみたい」とか、「家族と頻繁に会える距離がいい」とか、条件で絞っていくのもありだと思います。金島さんは進路についてどんなふうに考えていますか？

金島:私は天体観測が好きで、理系の学問を学ぶのもいいなあと思っているのですが、得意なのは文系で。いま学んでいることと、これからの進路をどう結び付けていけばよいかを考えている感じです。

竹本:私はいまでも音楽は趣味として続けてい

ます。時の流れと共に、夢が変わってもいいと思うし、その時々で興味あることにトライするのが大事なんじゃないかな。もう少しうまくいかなかったとしても、それは「失敗という大切な経験を積めた」ということだと思います。

——働き方やキャリアについて、質問があればお願いします。

豊田:会社ではどんな仕事をされているのですか。私は人と話すのが苦手なのですが、将来しっかり働けるか不安です。

竹本:入社時はパートからスタートして、半年後に正社員へ切り替えとなりました。それを機に所内報などを制作する編集業務を担当。同部署で2回産休を取り、2回目の産休が明けてしばらくして、社内の安全管理と環境改善を担う「安全環境課」へ。いまはここで社員の健康維持や、会社で出るゴミの分別の徹底などを担当しています。長時間残業者へのフォローなどもして、社員同士が支い合える環境づくりを進めています。自分が得意ではない分野を

担当することもあるかもしれませんが、助け合える仲間がいるので安心して働けています。

金島:学校でも、具合の悪い子がいたら皆でサポートしています。生理痛がひどい友人がいると、薬をわけてあげたり、保健室で休むように促したりしています。

竹本:そうそう、学校も会社も同じ。ちなみに弊社では生理時不就業などの制度が整っていて、女性特有の健康課題に配慮してくれています。私はこれまで2度産休を取得しましたが、それも仲間たちの支えがあったからこそできたことだと感謝しています。

豊田:仕事をする上で、女性ならではの大変さはありますか？

竹本:会社としても女性活躍推進の取り組みに力を入れていて、女性社員に特化したキャリアアップセミナーなどを開催しています。妊娠や出産といった理由でキャリアを中断しないといけない場合でも、育児休業や在宅勤務などの多様化した勤務形態のおかげで選択肢が増えていきます。女性という視点を超えて、性別やハンデに関係なく、皆が同じようにチャレンジで



きる環境を自分たちでつくっていくことが、これからますます大切になってくると感じています。

金島:そういえば先日、社内に運動施設があったり、カフェスペースを設けて社員のリフレッシュを図っていたりする会社の特集をテレビで見たのですが、竹本さんの会社もそのような環境はありますか？

竹本:私がしている仕事は社員の健康増進なども考える部署なので、まさにそういうことを進めている最中ですね。集中スペースと休息スペースを分け、より良い職場環境の整備に取り組んでいます。

豊田:持病がある人もいると思うので、職場環境も含めて、会社でいろいろと配慮してもらえるのはありがたいです。

竹本:体調管理に気を配りつつ、互いを理解し合うのが大事ですね。

豊田:働くうえでは、自分で自分をケアすることも必須ですね。私の母親は軽作業で体を動かす仕事をしているので、逆に自宅ではクロスワードなどの脳トレにチャレンジしています。体を動かさない仕事をする人なら、スポーツを試してみとか。

金島:私たちもいずれ就職したら、健康管理に気を付けながら長く働きたいですね。

竹本:まずは健康が1番。そして、仕事もプライベートも充実させて、イキイキとした毎日を過ごせることが本当の「良いキャリアを積む」ということだと思います。「キャリア」の語源はラテン語で、日本語に訳すと「轍(わだち)」という意味なんだそうです。車輪の跡のことですね。まっすぐな轍でも、クネクネと曲がった轍でも、自分らしく、納得できるキャリアを歩んでいきたいですね。

多様性を理解し、認め合う
安心して働ける環境づくり





製品が完成した時の 達成感がやりがいい。 前向きに日々成長中

ふじい まさし
藤井 将司 (27歳)

2019年入社
広島市立観音中学校・広島県立広島観音高等学校 出身



製品が完成した時は大きな達成感が得られます。入社して4年半、知識やできることも増え、最近は自分の意見を積極的に言えるようになりました。上司や同僚から「いいじゃないか!」と褒められると、自分の成長を感じ、次も頑張ろうと思えます。

高い技術力と安心のアフターサービスで 社会の発展に持続的に貢献する

三菱重工業のグループ会社。飛行機に搭乗するための旅客搭乗橋や、駅ホームからの転落を防ぐホームドアなど、人々の生活に密接した公共性の高い製品を提供。高い技術力と安心のアフターサービスで社会の発展に持続的に貢献している。年齢や世代の垣根なく協力し合って仕事ができ、安心して働ける環境づくりにも取り組む。



休日の過ごし方

日常から少し離れ、旅行でリフレッシュ

連休があると、旅行や遠出をします。コロナ禍で規制がかかる前は鳥取や京都、大阪などいろいろな場所に行きました。ご当地のグルメを食べたり、神社やお寺を参拝、温泉に入ったりなど目的はいろいろですが、非日常感が味わえてリフレッシュできます。最近は筋トレにハマリ、ジムにも通っています。



不用品片付けサービスで 地域課題更解消に貢献 ゴミのない地球に

うえだ まさかず
上田 正和 (37歳)

2020年入社
三原市立第五中学校・広島県立三原東高等学校 出身



高校生の頃、「校舎裏の和久原川をきれいにして、ホテルがすめるようにしよう」とゴミ拾いを計画し、校内の奨学金制度「夢資金フロンティアX」に採択されました。このことがきっかけで環境問題に興味を持つようになりました。現在、ゴミの削減やリサイクルに関わる仕事に就き、毎日が充実しています。会社では不用品の片付けサービス事業の担当をしていますが、お客様



が、すっきりした暮らしと心の余裕を手に入れられた様子を見ると、「お手伝いできて良かったな」と心底感じます。夢は自分の子ども達にきれいな地球を引き継いでいくこと。その為にマイボトルやマイ箸の持参など、自分にもできることから始めています。

廃棄物の処理や不用品の片付けでSDGsを实践 課題解決で持続可能なまちづくりを手助け

一般廃棄物や産業廃棄物など、廃棄物全般の収集・運搬・処理を行う。また、病院や公共施設、高速道路等の施設清掃管理も手がける。「まちのキレイ」をモットーに、地域の課題である空き家対策や不用品処分にも力を入れ、あらゆるサービスをワンストップで提供。近年では、さまざまな業務のDX化も進め、作業の効率化を図り更に働きやすい環境を構築する。

休日の過ごし方

3児のパパとして忙しくも幸せな毎日を実感

家族で公園やショッピングモールで遊んでいます。第3子が生まれたばかりでお出掛けもあまりできておらず、気付けばみなでお昼寝をしていることも。でも、そんな時間がとても幸せです。写真は祖母の家に遊びに行った時のもので、ひ孫の成長を楽しみにしてくれています。





患者様に寄り添い 笑顔で薬をお届け バの触れ合いを大切に

たかほし ゆい
高橋 結衣 (27歳)

2021年入社
三原市立第四中学校・広島県立尾道北高等学校 出身



することはもちろん、いつも笑顔で絶やさないう心掛けています。「今日も頑張ってるね」と気さくに話しかけてもらえると、すごく温かな気持ちになり、「一生懸命仕事に励もう」とやる気になります。これからも、知識を深め社会のお役に立ちたいと思います。

地域に根差す薬物治療のエキスパート 在宅医療や終末医療に対応し、安心を提供

三原市内約50店の薬局及び薬店、薬剤師等により運営されている法人。センター薬局を含め、会営薬局を2店舗運営。地域医療の担い手として病院勤務の薬剤師や他職種と連携を図る。処方箋対応、服薬指導(薬物治療)に力を注ぎ、丁寧な説明で患者に安心を提供。在宅医療(終末期)に対応した無菌調剤も行う。お薬手帳の普及、健康相談にも取り組む。



自分の会社の 好きなところ

日々を豊かにしてくれる大好きな先輩たち

職場の皆が大好きで、先輩たちにはいつも優しく接してもらっています。結婚した先輩の新居にお邪魔して一緒にご飯を作ったり食べたりなど、幸せのおすそ分けをしてもらったこともあります。皆さんのお陰で、明るく豊かで充実した毎日過ごすことができます。



人の健康に興味を持ち 「やまみ」に入社 安バとおいしさを追求

おかもと たかと
岡本 崇登 (28歳)

2020年入社
呉市立昭和中学校・学校法人呉武田学園 呉港高等学校 出身



製造ラインへの指示や、製品が出荷されるまでの流れを見る生産管理の仕事に就いています。多い日では1種類の製品につき2万個程を製造し、「今日もこれだけの商品をお客様に届けることができたんだ」と、達成感でいっぱいになります。取引先様の要望を踏まえ、素材やおいしさを追求していくことが当面の目標。大学で生物学などの知識を学び、人の健康に興味を持つ



日本一の豆腐メーカーを目指す躍進企業 最新鋭システムと人財力を強みに前進

豆腐をはじめとする、厚揚げや油揚げなどの大豆製品を製造。三方良しを経営理念に、社員・顧客・取引先に利益の出せる経営を行う。圧倒的な生産能力でニーズに合わせた製品をローコストかつスピーディーに提供。2012年に関西、2020年に関東へ工場を新設し20年で売り上げを30倍に。最新鋭の機械導入と若手中心の行動力で、今まで以上のシェアアップを図る。

休日の過ごし方

自宅でのんびり、近場のドライブで元気に

ゲームや動画視聴、ペットの文鳥と遊んだりしながら、自宅でのんびり過ごすのが好きです。時間と体力がある時は、ドライブに出かけておいしいご飯やスイーツを楽しむことも。写真の公園は見晴らしもよくてお気に入りのスポット。何も考えずにくつろいで過ごす時間が元気の素です。





人と関わるのが好き お客様の温かい声が 仕事のやりがいに

田井 舞 (36歳)

2019年入社

熊野町立熊野東中学校・佐賀県立伊万里商業高等学校 出身



しくてたまりません。スタッフみんなで協力してやり遂げる達成感も魅力です。私のように、実際に働いてみて自分に向いていると気付くこともあるので、中・高生の皆さんも、「やってみたい!」と思ったことは何でもチャレンジしてみてください。

人と人とのつながりを大切に 飲食店や介護事業所を多数展開

「カルビ屋大福 三原店」「田所商店 アクロスプラザ三原店」「円一珈琲」をはじめとする飲食店8店舗、介護事業所2施設を運営。飲食店では、おいしい料理と心のこもったおもてなしで「また来たい」と思ってもらえる店を目指す。人と人とのつながりを大切に、社員・アルバイト、老若男女関係なく、スタッフ全員がチームワークを培いながら、お客様を迎える。



自分の会社の 好きなところ

自分の夢に近づける&スタッフの仲の良さ

和食店を開業するのが夢なので、事務の仕事では飲食店の経理を、ホールで働いている時は接客サービスを学ばせてもらっています。元和食料理人の店長から、料理に対してのこだわりや季節メニューの考案について教えてもらうことも。スタッフ同士の仲が良く、プライベートでも、ご飯やカラオケに行っています。



自身も会社のファン 皆で一緒になって創る ワクワクが原動力

小松 杏子 (24歳)

2021年入社

学校法人福山曉の星学院 福山曉の星女子中学校・福山曉の星女子高等学校 出身



「よがんす白竜」を知ったのは、大学在学中にたまたま見ていたSNSがきっかけでした。イベント情報などの発信のほか、社員への思いや課題解決に対する熱い志が伝わっており、「すごい会社だな」とアプローチ。現在は私もそんな会社の一員として、情報発信や企画の立案に携わっています。SNSを見たお客様が「おいしそうなランチを目当てに来ました」と、実際に施設

に足を運んでくれた時などはすごくうれしいです。次はどんなことを仕掛けようかと、お客様のニーズを踏まえながら会社の皆でいろいろ考えている瞬間が幸せ。後輩の皆さんも、自分軸を大切にしながら夢中になれるものを見つけてみてください。

「人が来ない場所に人を呼ぶ」が目標 再生と創造を実現する道の駅発ブランド

築17年を経た道の駅の再生を掲げ、地元有志が中心となり結成。「見たことない道の駅」をテーマに、ナポリ製の薪窯で焼き上げる地元の産直野菜を使ったピッツアや、自家栽培米を磨かずに醸したオリジナルの日本酒を提供するなど、「わざわざ赴きたくない場所」、「最終目的地になる場所」を目指す。道の駅として極端にユニークな存在になることを目標に、新たな価値を創造。



自分の会社の 好きなところ

ワクワクや感動を体感! 新しいことにも挑戦

新しいプロジェクトが始まる時のワクワクや感動を、日々感じながら働けるところが魅力です。イベントの企画や県内外のマルシェなどへの参加、施設での接客や販売等、幅広い業務に挑戦できるところもいいと思います。私自身が、そんな会社の1番のファンかもしれません(笑)。





経験を積み重ね 患者さんや仲間から 頼られる管理栄養士に

ふくほろ あいこ
福濱 愛子（31歳）

2015年入社
三原市立幸崎中学校・広島県立三原高等学校 出身

中学の職場体験ではデイサービスセンターで高齢者と触れ合い、高校の職業学習ではスポーツ選手の食事をサポートする栄養士について調べました。振り返ると、どちらも今の仕事につながっています。大学は県外でしたが、地元が好きで三原へ戻り就職。管理栄養士として、献立の作成や患者さんの栄養状態の管理、栄養指導などを行っています。入院患者さんから「おい



しい食事をありがとう」「退院後の参考にします」と書かれた手紙をもらったときはうれしかったです。目標は、経験を積み、患者さんはもちろん医師や看護師からも頼られる管理栄養士になること。チーム医療の一員として戦力になれるよう頑張りたいです。

質の高い医療を提供し続けて50年 多職種が連携したチーム医療が強み

地域の要望に応えるべく、高度な診断・治療機器を完備し、質の高い医療を提供する中核病院。多職種が連携、個々の患者に最適な医療を提供できるよう努める。開院50周年を迎え、より充実した医療・福祉環境を整え、地域社会に貢献することを目指す。恒例の「里仁祭」では、医師による講演会、スタンプラリー、コンサートなどが行われ、多くの地域住民でにぎわう。



自分の会社の 好きなところ

イベントも好評! 地域に根差した病院

地域住民の方や利用する患者さんのことを大切に考える、地域に根差した病院です。今年は4年ぶりに「里仁祭」という誰でも気軽に参加できるイベントが開催され、私もブースに立ちました。栄養に関する情報の掲示やクイズ、豆運びゲームなどを行い、子どもから高齢者まで、たくさんの方に楽しんでもらいました。



工学の知識を生かし お客様のニーズを くみ取って形にする

なかや ゆうま
中屋 優希（31歳）

2015年入社
広島大学附属三原中学校・広島県立尾道北高等学校 出身

大学では工学部に在籍し、機械や材料力学、ロボット制御などについて学びました。これらの学びを生かしつつ地元で働きたいと考え、ニッチな業界でトップシェアを誇るレニアスに就職。1年目は生産部門で自社製品について知識を深め、その後は設計部門で7年間勤務しています。車両や建設機械の窓枠を設計するのが主な業務で、お客様から届く仕様を反映し、形にする



初期段階を手掛けます。コストや品質など全てを加味し、最良の提案ができるとやりがいを感じます。これからお客様の真のニーズは何なのかを考え、生産部門や技術部門と連携して、本当に必要とされる製品を届けていきたいです。

強くて軽いPC樹脂製品のトップシェア企業 国内外で製品が採用、グローバルに展開

PC（ポリカーボネート）樹脂並びにアルミサッシ加工製品で高いシェアを誇る。「強い」「透明」「軽い」を特徴とするPC樹脂製品は建設機械ほか、ゴルフカートや鉄道車両、バス、自動車にも活用。PC樹脂一貫生産システムを保有しているため、他社では実現が難しい大型の樹脂窓製造を得意とする。北米や欧州などでも製品が採用され、グローバルに事業を展開。

休日の過ごし方

ピアノで息抜き、仲間のお陰で新しい世界も

社会人ピアノサークルに所属し、仲間と共に演奏やコンサートを楽しんでいます。サークルにはいろいろな年代や職業の人がいるため、知り合いがすごく増えました。山登りに誘われたりと、今まで挑戦してこなかったジャンルに触れる機会ができ、自分の世界が広がるを感じています。



興生総合病院
×
三原高等学校友達と過ごす時間を大切にしながら
勉強も遊びも全力で取り組もう！進路の選び方から、仕事のやりがい、
地元で働く魅力まで、本音でトーク！親や先生と相談して決めた
看護師&臨床検査技師の道

——今日は、興生総合病院で働く3人の先輩が三原高等学校に来てくれました。直接話が聞ける貴重な機会です。気になること、知りたいことなど、遠慮なく聞いてみましょう。

有田:看護師や臨床検査技師になろうと思ったきっかけを教えてください。

東:もともとは教育系を目指していましたが、高3の時に進路を悩んでいたところ、担任の先生から「資格さえあればどこに行っても働ける」と勧められ看護師の道へ。幼い頃に入院した時、看護師さんが優しく寄り添い、不安を取り除いてくれたことを思い出し、自分もそんな看護師になりたいと思いました。

尾熊:塾の先生から「臨床検査技師は定時で帰れる」と聞き、どんな仕事だろうと調べてみたところ、面白そうだったので目指すことにしました。定時が理由!? と思うかもしれないけれど働き方は大事!

丸岡:私は高3の秋になっても何も考えていなかったんです。親と先生が焦って、こういう道もあるよって教えてくれたのが看護

系の学校でした。二人は、将来やりたい仕事はあるのかな?

福中:理学療法士を目指しています!

有田:私は工学系の大学に進みたいと思っていますが、仕事についてはまだ決まっていなくて。

福中:なぜ地元で働こうと思ったのですか?

東:専門学校の時に福山市の病院へ実習に行きましたが、ピリピリした空気が合わなくて……。その後、見学した興生総合病院の温かい雰囲気と惹かれ、ここで働きたいと思いました。

丸岡:私は高校時代に「興生総合病院は、実際に働けば返済不要の奨学金がある」と聞き、就職するならこと決めていました。生まれ育った町なので、ほんと落ち着くというのもある

たかな。

尾熊:のんびりしていて落ち着く場所ですね。私は、就職したての頃は覚えることも多く、メンタル的にも大変そうなので、サポートしてもらえる家族がいる実家から通いたいと思いました。

——同じ病院に勤務しているとはいえ、所属する部署も職種も異なる三人。それぞれどんな仕事をしているのでしょうか。

福中:仕事の魅力を教えてください。

尾熊:臨床検査技師として、検体検査や生理検査を行っています。データとじっくり向き合う仕事で、とてもやりがいがあります。

東:私は、回復期病棟で看護師をしています。患者さんが長い間リハビリを頑張リ、回復していく姿を見ると感動します。

丸岡:私は、ひいおばあちゃんが亡くなった時にもっとできることがあったのではと思った経験から、お年寄りを看る病棟で働いていました。どうやったら安らかな最期を迎えられるか考えてい

ましたが、最近、手術室担当へ異動に。一言で看護師といっても、いろんな部署があり、仕事の幅が広いのが魅力ですね。

有田:どんなことが大変ですか?

丸岡:異動になったばかりですが、病棟と手術室では、仕事内容も雰囲気も全く違います。でも、良い人間関係を築いておけば、何かあった時に助けてくれるので、コミュニケーションだけはしっかり取るように心がけています。

尾熊:興生総合病院は、多職種が連携したチーム医療を提供しているため、コミュニケーションは不可欠。ミスが起こったり、問題が発生したりした時は、みんなで頼り合って乗り越えています。

東:私は入職1年目ですが、コミュニケーションの難しさを日々感じています。学生時代がゆるかったこともあり、敬語が上手く使えなくて。

有田:女性ならではの大変さはありますか?

東:患者さんを運ぶ時など、体力面で男性に敵わないことはありますが、他はとくに無いです。

尾熊:女性だから大変というのは無いかな。「女性スタッフに看てもらいたい」という声もあ



り、女性が活躍できる場面の多い職場です。

丸岡:産休や育休などの制度もしっかり利用されているイメージ。産休・育休を取っている先輩が周りにたくさんいます。

福中・有田:働きやすい環境が整っていますね。

有田:高校時代に、もっとやっておけばよかったと思うことはありますか?

尾熊:やはり勉強ですね。

丸岡:同感〜。私は必要な科目だけに絞って勉強しましたが、途中で行きたい分野が変わるかもしれないし、後になって役立つこともあるので、まんべんなく勉強しておくことをお勧めします。

尾熊:資格は取っておいて損はありません。英検はもちろん、ワードやエクセルなどパソコン系の資格は、どんな分野に進んでも役に立つはず。あとは、遊ぶことも大事!

東:友達と過ごす時間を大切にしてほしいですね。社会人になるとなかなか休みが合わなくて。

丸岡:一緒にお弁当を食べたこと、授業中に遊んだこと(笑)、たわいのないおしゃべり……今も心に残っています。いつの日か懐かしいと思う時が必ず来ますよ。

尾熊:私は高校を卒業して12年が経ちますが、高校時代の友達とは今も仲が良いです。きっと一生の友達になるんじゃないかな。

福中・有田:勉強も遊びも全力で頑張ります!

